

● View Managerユーザーマニュアル

目次

概要	3
View Manager のシステム要件	4
View Manager のファンクションキー	5
ログインについて	7
第 1 章 装置の追加方法	9
1.1 IP スキャン	9
1.2 デバイスのステータス・アイコン	11
1.3 デバイスフィルターについて	12
1.4 DVR/NVR を View Manager に追加	12
1.4.1 DVR/NVR をデバイスグループにクイック追加	14
1.5 リモート DVR/NVR を View Manager に追加	16
1.5.1 グループとチャンネルを手動で追加	16
1.5.2 DVR/NVR を一括で追加	18
1.5.3 登録した装置の接続情報を変更する	19
1.6 ウィンドウビュー	20
1.6.1 ローカルビューアー一覧の右クリックメニュー	21
1.6.2 ビューグループの右クリックメニュー	22
1.6.3 カメラのハイライト	22
第 2 章 View Manager のライブモニタリング	23
2.1 ライブビューグループ設定	23
2.2 PTZ コントロール	24
2.2.1 ビュー画面上での PTZ コントロール	24
2.2.2 PTZ コントロールパネル	25
2.3 カメラ右クリックメニュー	25
2.4 動的なビデオチャンネル変更	26
2.5 シーケンス表示	27
2.6 デュアルスクリーンモニタリング	27
2.7 スナップショット	28
2.8 拡大表示	28
第 3 章 リモート再生とバックアップ	29
3.1 リモート再生設定	30
3.2 リモート再生	31
3.2.1 リモートマルチチャンネルバックアップ	32
3.2.1.1 MPlayer 形式のバックアップ	33
3.2.1.2 バックアップ画像変換フォーマット	33
3.2.1.3 USB バックアップ	34
3.2.2 スナップショット	34
3.3 リモートイベント再生の検索とバックアップ	35
3.3.1 イベント再生	36
3.3.2 スマートイベント再生	37
3.3.3 イベントバックアップ	38
第 4 章 カメラビュー設定	39
第 5 章 ユーザー管理	41
5.1 ユーザー追加	41
5.2 作成したユーザーの編集	42
5.3 操作アクセス管理	42
5.4 装置アクセス管理	43
第 6 章 システム構成のインポートとエクスポート	44
6.1 ローカルバックアップのインポート先	45
付録	47
付録 1 : シングルチャンネルバックアップ	47
付録 2 : IPScan について	50
付録 3 : Local Device Manager について	50

概要

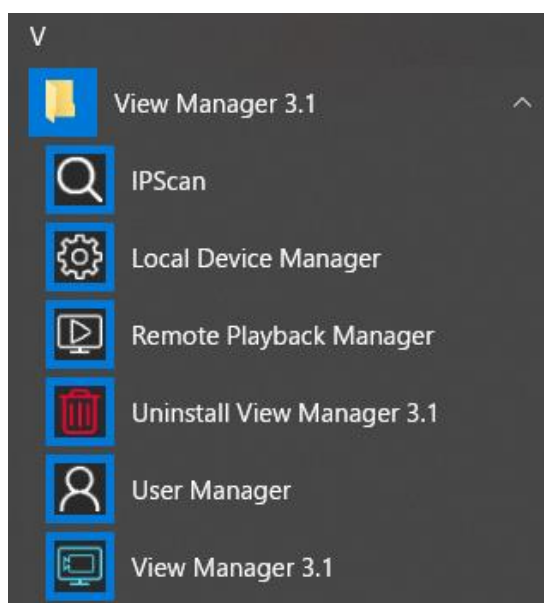
View Manager は、DVR、NVR 用の Windows アプリケーションソフトウェアです。主な機能は、遠隔ライブモニタリング、遠隔再生・バックアップ、PTZ 制御及びユーザー管理となります。

View Manager

View Manager は、64-bit Windows プログラムで、128 グループビューまでのサポートが可能です。各々のグループビューは、最大 144 チャンネルの設定が可能です。本ソフトウェアは、ネットワーク経由のシステムの管理にソリューションを提供します。

- 多チャンネルの同時再生・バックアップをサポート
- 各グループビューは同時に144チャンネルのリアルタイム画像と過去の画像を表示可能

リモートモニタリングを実行するとき、画面表示をカスタマイズできます。ユーザー管理機能で各ユーザー毎のグループビューにアクセスできます。DVR、NVR の遠隔からの再生・バックアップが可能です。



Note: View Manager は、無償でダウンロード、インストールできます。

View Manager のシステム要件

PC スペック(推奨)

- CPU: Intel Core i7 クアッドコア 3.0Ghz 以上
- RAM: 8GB 以上(推奨:16GB 以上)
- OS: Windows 10 64 ビット(推奨:Professional Edition バージョン 1803 以降)
- グラフィック: NVIDIA GeForce GTX1650 相当あるいはそれ以上(推奨:4GB 以上)

Note: 高パフォーマンスのグラフィック(専用のグラフィックカード)を使用することをお勧めします。

表示チャンネル数に依存して CPU 性能が異なります、下記がマルチスクリーン 480P 15 フレームの例です。

H.265 ビデオデコード時の推奨 CPU 例:

- シングルスクリン、18 チャンネル、CPU i5-8500 以上
- シングルスクリン、36 チャンネル、CPU i7-8700 以上
- デュアルスクリーン、50 チャンネル、CPU i7-9700K 以上
- デュアルスクリーン、72 チャンネル、CPU i7-9900K 以上

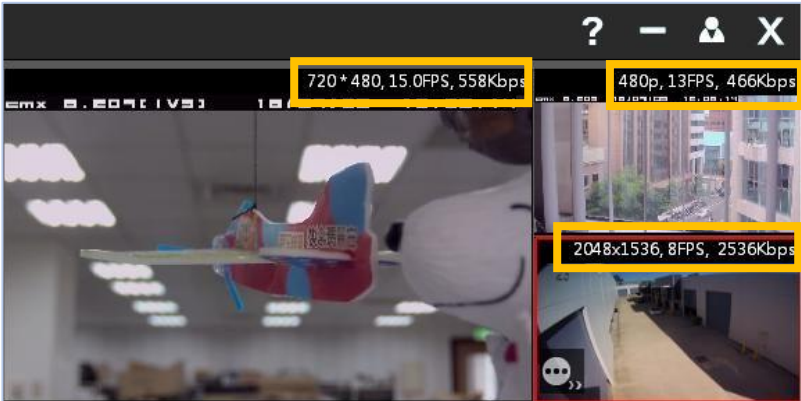
H.264 ビデオデコード時の推奨 CPU 例:

- シングルスクリン、36 チャンネル、CPU i5-8500 以上
- シングルスクリン、72 チャンネル、CPU i7-8700 以上
- デュアルスクリーン、100 チャンネル、CPU i7-9700K 以上
- デュアルスクリーン、144 チャンネル、CPU i7-9900K 以上



View Manager のファンクションキー

[F2]キーを押すと、時刻、装置名およびビットレート、フレームレート(FPS)などのストリーム情報を表示切替できます。ストリーム情報は帯域幅が低い場合など、適切なストリームを設定・選択するためにご使用ください。



[F2]キーで切り替わる装置名と時間の組み合わせの表示モードを示します。次の6つの表示モードがあります。

非表示	
装置名を表示する	
装置名と時刻(HMS)の表示	

装置名と日付(YMD)の表示	
時刻(HMS)の表示	
日付(YMD)の表示	

ストリーミング情報には、2つの表示モードがあり、以下の情報を表示できます。

1. 解像度、フレームレート(FPS)、ビットレート、チャンネル番号
2. 解像度、フレームレート(FPS)、ビットレート、チャンネル番号[Qxx、Cxx、4p/5p]



Q、C、p、i、j の内容は次のとおりです。

Q (Queue Value)	画像処理バッファの参照値です ● 値が小さいと遅延が減りますが、ネットワークパケットの影響を受けてビデオデータが完全には受信されません。 ● 値が高くなると遅延が発生し、画像が不均一になります。
C1	CPU 処理スレッド「C1～C4」 画像が高い CPU 処理を必要とする場合、数値が大きくなります。 GPU デコード時には I (Intel GPU)、N (Nvidia GPU)が表示される場合があります。
4p	H.264 P-frame
5p	H.265 P-frame
4i	H.264 I-frame
5i	H.265 I-frame
j	JPEG

解像度の記号表示リストは次のとおりです。

CIF	320x240
VGA	640x480
480p	720x480
720p	1280x720
FHD	1920x1080
WFHD	2560x1440
QFHD	3840x2160

ログインについて

最初にシステムにログインします。デフォルトのユーザー名は”admin”で、パスワードは空白のままです。ログインタイプは”通常モード”を使用してください。

システムからログアウトするには、画面右上の[ログアウト]  をクリックしてください。

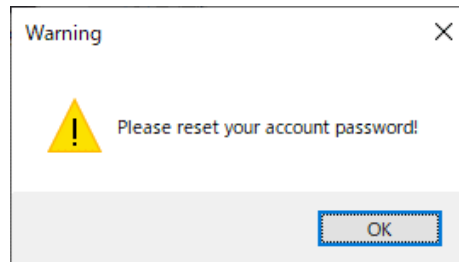
ログアウトはログイン中のユーザーまたは”admin”権限のあるユーザーで実行できます。

[ユーザー変更]  をクリックするとユーザーを切り替えることができます。

Client 64 Bits User Login

ログイン名	1: admin	▼
ログインタイプ	通常モード	▼
ユーザー名	admin	
パスワード		
ホスト名	DOMAIN01.LOCAL	: 389
LDAPベースの識別名		
ユーザー名パス		

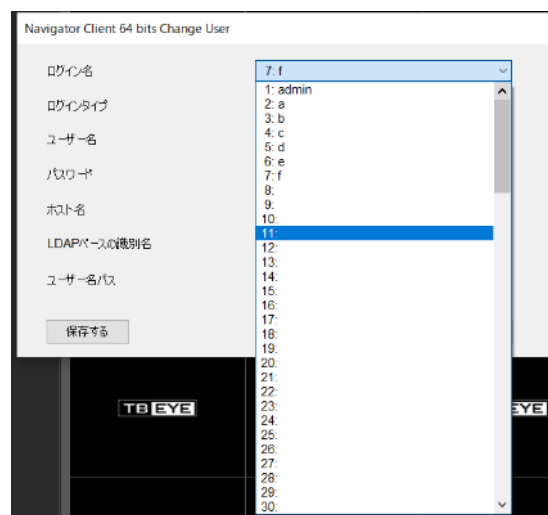
セキュリティ上の理由により、初めて View Manager をインストールした場合は、ログインするためのパスワードを再設定するように警告ダイアログが表示されます。初期状態で使用することが可能ですがパスワード設定するまで警告が表示されます。ユーザー名とパスワードは、User Manager (ウィンドウズのスタートメニューから[User Manager]  アイコンで起動)で変更してください。(5 章参照)



Note: パスワードには設定条件(文字数、使用文字など)があります、設定画面を参照して決定してください。
条件(参考): 以下の内3つを満たす必要があります。

- ① 少なくとも 8 文字(必須)
- ② 文字と数字を含む
- ③ 大文字と小文字を含む
- ④ 特殊文字(! 、 \$ 、 # 、 %)を含む

複数のアカウントを保存するためのログイン設定をサポートし、最大 128 のログイン設定を保存できます。

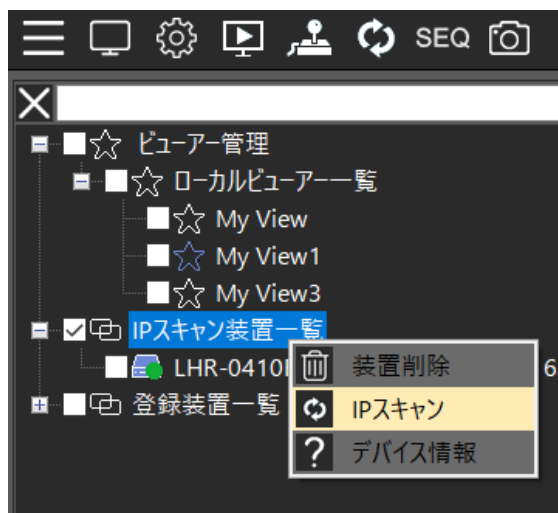


第 1 章 装置の追加方法

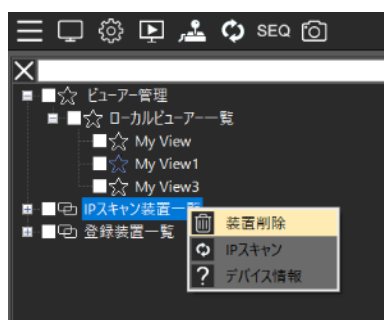
View Manager は、IPScan プロトコルをサポートしています。IPScan プロトコルでは、LAN 内の DVR/NVR、および IP カメラを簡単に追加できます。

1.1 IP スキャン

IP スキャン装置一覧の右クリックから[IP スキャン]を選び、スキャンする装置のタイプに[IPScanデバイス]を選択して実行すると、LAN 内の DVR/NVR、カメラ情報が更新されます。

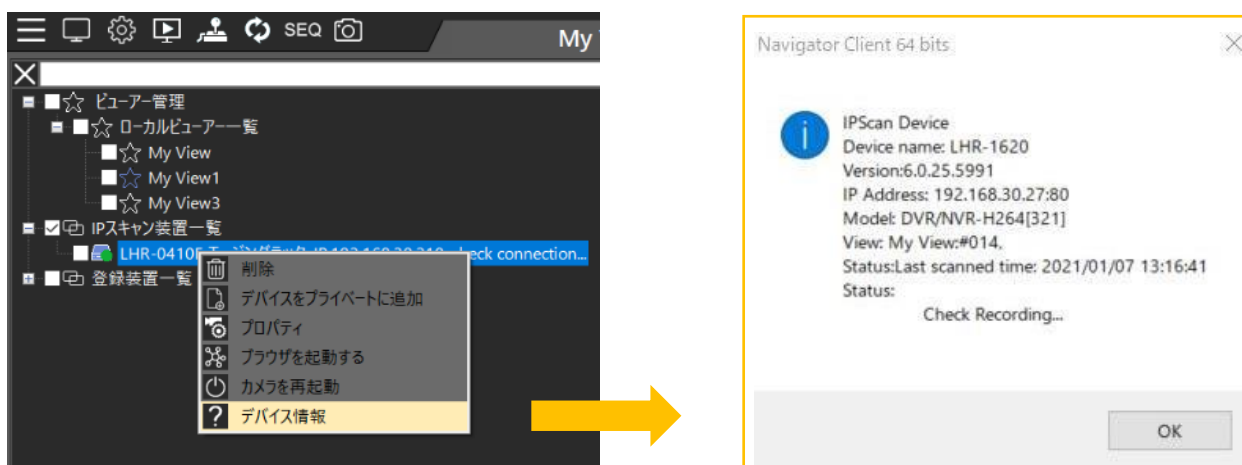


右クリックで表示されるメニューの機能を以下に説明します。



- 装置削除: IP スキャン装置一覧からすべての装置を削除します。
- IP スキャン: IPScan でローカルエリアネットワーク(LAN)上のデバイスをスキャンします。
- デバイス情報: スキャンされたネットワーク上の装置の総数情報を表示します。

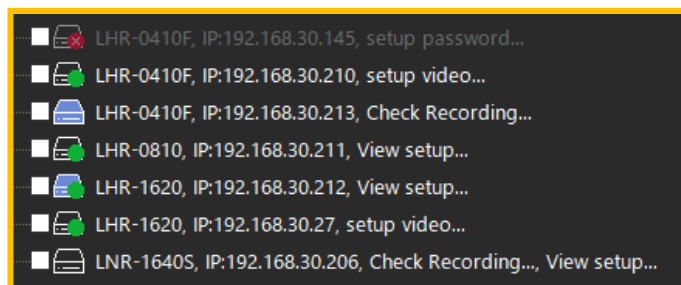
IP スキャン装置一覧以下の装置を右クリックして表示されるメニューの機能を以下に説明します。



- 削除: IP スキャン装置一覧から装置を削除します。
- デバイスをプライベートに追加: 登録装置一覧の指定したグループに装置を追加します。
- プロパティ: 装置のプロパティ(ID/Password の設定に使用します)を開きます。
- ブラウザを起動する: ブラウザで装置を開きます。
- カメラを再起動: 装置の再起動を行います。(カメラのみ対応、DVR/NVRには対応しません。)
- デバイス情報: 装置名、ファームウェア、IP アドレス、モデルなどの詳細な情報を表示します。

1.2 デバイスのステータス・アイコン

View Manager はデバイスの接続状態を表示できます。デバイスステータスアイコンは、設置時にリモート装置の問題を識別および診断することに利用可能です。



デバイスのステータスは以下のとおりです。

アイコン	デバイスステータス	アイコン	デバイスステータス
	DVR/NVR IPScan 接続 OK		IP カメラ IPScan 接続 OK
	DVR/NVR 切断されている、または接続失敗		IP カメラ 切断されている、または接続失敗
	DVR/NVR 登録装置一覧に追加されている		IP カメラ 登録装置一覧に追加されている
	DVR/NVR すでに設定済み		IP カメラ すでに設定済み
	DVR/NVR ビューに追加されている		IP カメラ ビューに追加されている

ステータスメッセージ例を以下に示します。

Check connection:

このデバイスが 24 時間以上接続またはスキャンされていない場合、このメッセージが表示されます。

Check Recording:

録画の割り当てが行われていません。(View Manager では録画設定は無いので問題ありません)

View Manager では登録装置一覧に登録するとこのメッセージは表示されなくなります。

View setup:

このデバイスはどのビューにも割り当てられていません。モニタリングを行う場合はビューに割り当ててください。

Setup Video:

機器は認証を通過していますが、カメラのプロファイルや DVR/NVR のストリーミング情報が取得できません。

右クリックメニューのプロパティ内で Connect ボタンにより接続テストを行ってください。

Setup password:

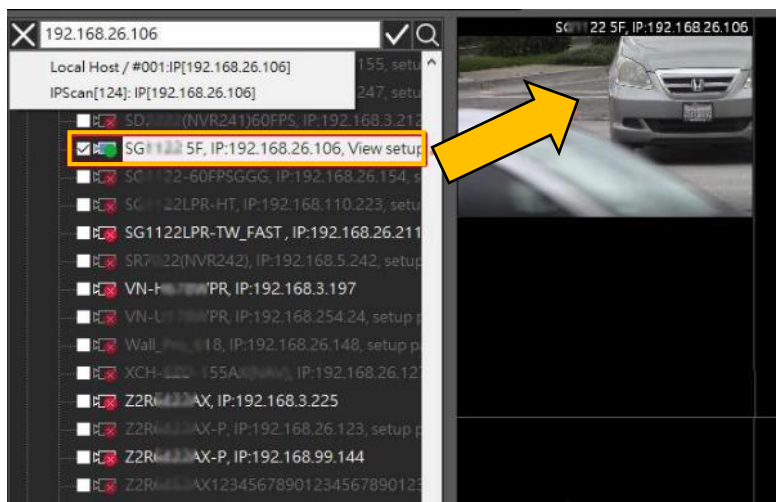
このデバイスには、ユーザー名とパスワードが設定されていません。ユーザー名とパスワードを入力してください。

1.3 デバイスフィルターについて

カメラ画像を表示するには、カメラ、DVR/NVR をカメラビュー（右画面）にドラッグします。カメラ画面を簡易に確認したい場合は、装置一覧の装置にマウスを移動すると、スナップショットとともにカメラ情報が表示されます。

カメラを管理するために、デバイスフィルターを使用して装置をすばやく検索できます。検索する装置のキーワードを入力し ☒ をクリックすると検索された装置が選択されます。そして選択された装置をカメラビューにドラッグすることでカメラビューをすばやく作成できます。

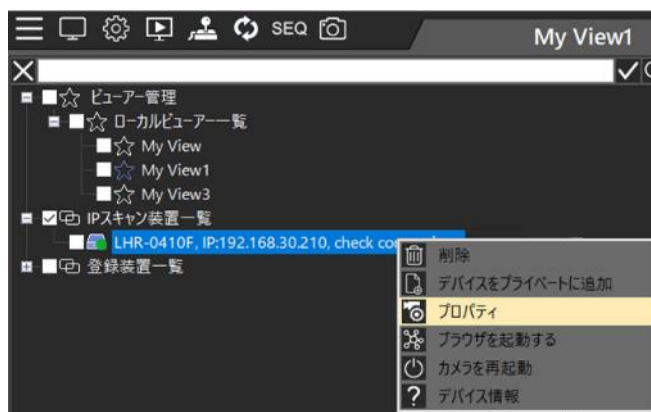
 をクリックして装置を検索します。検索が終わったら  をクリックしてキーワードと選択をクリアします。



1.4 DVR/NVR を View Manager に追加

IP スキャンを実行すると、IPスキャン装置一覧にスキャンされた装置がすぐに追加されます。

右クリックメニューの[プロパティ]を選択して、ユーザー名、パスワードなどの DVR/NVR 関連の設定をします。



プロパティ

正しいユーザー名とパスワードを入れてから"Connect"をクリックして接続を確認してください

カメラの名称	LHR-0410F
デバイスの種類	DVR/NVR-H264
IPアドレス/DNS名	192.168.30.210
HTTPポート(例: 80)	8810
Onvifポート(オプション)	8810
Videoポート	554
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.30.1
ユーザー名	admin
パスワード	*****

CAM01/4ch



☐ PCとの時刻同期

以前の実行時間 2020/12/28 02:18:58

Connect

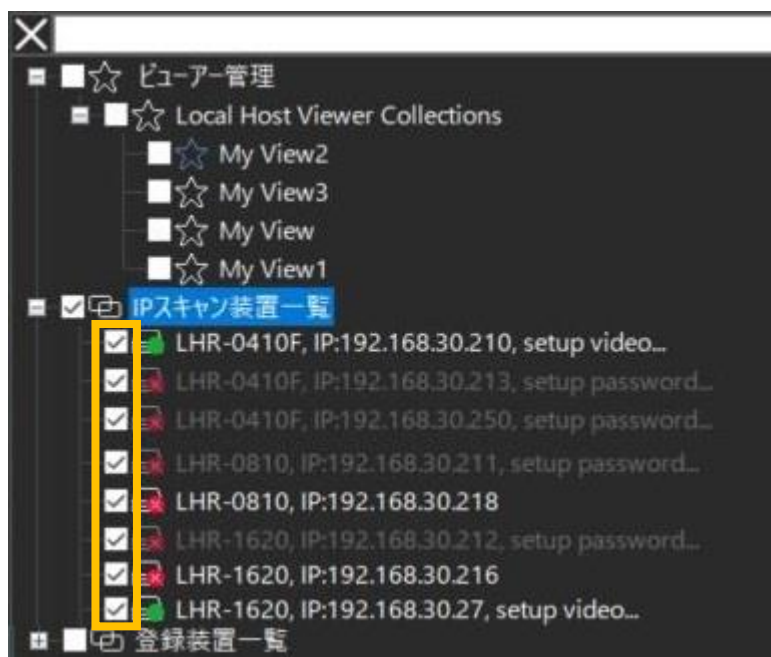
OK CANCEL

- カメラの名称: 装置名称
- デバイスの種類: 装置の種類(DVR/NVR の場合”DVR/NVR-H264”)
- IP アドレス/DNS 名(必須): 装置の IP アドレス等
- HTTP ポート(必須): 装置の HTTP ポート番号
- Onvif ポート: 装置の ONVIF ポート番号
- Video ポート: 装置のビデオポート番号(RTSP 等)
- サブネットマスク: 装置のサブネットマスク
- ゲートウェイ: 装置のゲートウェイアドレス
- ユーザー名(必須): 装置のユーザー名
- パスワード(必須): 装置のパスワード
- PC との時刻同期: クライアントサーバーを介して DVR/NVR を時刻同期できます。
(DVR/NVR が NTP 同期している場合は PC と時刻同期しても再度 NTP 同期します)
- 以前の実行時間: 前回に IP スキャンで検索された日時が表示されます。

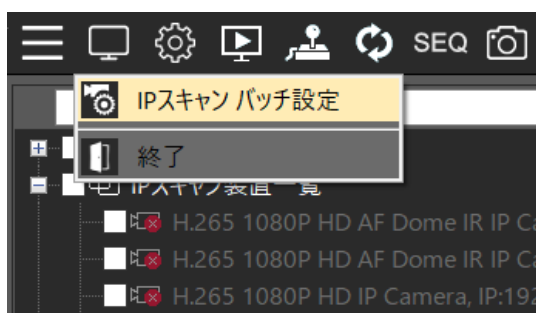
正しいユーザー名、パスワードを入力して、接続をテストするために[Connect]ボタンをクリックします。
接続が成功したら[OK]をクリックします。

1.4.1 DVR/NVR をデバイスグループにクイック追加

複数の DVR/NVR を選択してカスタマイズできます。アカウントやパスワードを同時に設定できます。



IP スキャン装置一覧から設定する装置を選択後、画面左上の  をクリックし[IP スキャンバッチ設定]をクリックします。



有効なユーザー名とパスワードを入力し[接続]を確認してください、確認後に[OK]を押します。

1.5 リモート DVR/NVR を View Manager に追加

DVR/NVR を登録装置一覧に追加します。

インターネット経由のリモート DVR/NVR を追加するには、手動で登録装置一覧に追加して利用します。

Note: 登録装置一覧への追加・削除操作は admin 権限のあるユーザーでのみ可能です。
権限に関しては第5章ユーザー管理を参照してください。

1.5.1 グループとチャンネルを手動で追加

DVR/NVR のカメラを個別に設定する方法です。

登録装置一覧を右クリックして[グループ追加]を選択します。



追加したいグループを選択し、右クリックし[チャンネル追加]を選択します。



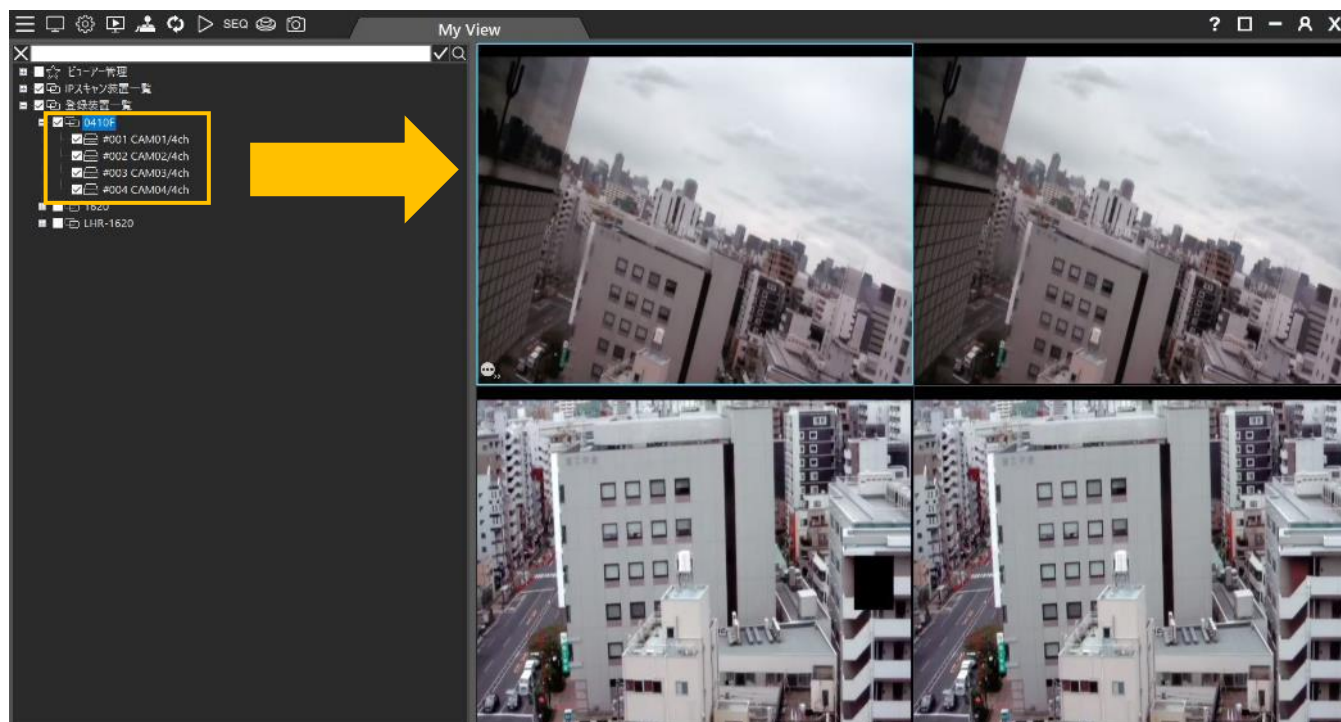
デバイスの種類は”DVR/NVR-H264”を選択します。([検知]により自動検出が可能ですが、IP アドレス、HTTP ポート、ユーザー名、パスワードの入力後である必要があります。)
カメラ名称、IP アドレス/DNS 名、HTTP ポート、ユーザー名、およびパスワードなどを入力します。

接続をテストするために[Connect]ボタンをクリックします。 接続が成功したら追加するカメラを選択して[OK]をクリックします。[複数のチャンネルのインポート]を選択すると DVR/NVR の複数のカメラを選択することが可能です。

Note: DVR/NVR で登録されたカメラ名(チャンネル名)を利用するには[複数チャンネルのインポート]を使用してチャンネルを選択してください。

Note: IP スキャン装置一覧にある装置は[デバイスをプライベートに追加]を使用することで、登録装置一覧へのチャンネル追加操作が可能です。

設定が完了したら、登録装置一覧から装置を選択してマウスでドラッグしてカメラビューに追加することで、リアルタイム画像の視聴、リモート再生、バックアップなどの機能を開始できます。

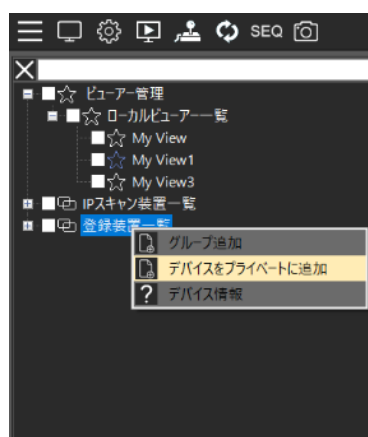


Note: View Manager は DVR/NVR に複数接続可能ですが、16 カメラ接続の DVR に 3 Client より多く接続した場合は、View Manager は 1 秒あたり 1 フレームの表示となります。

1.5.2 DVR/NVR を一括で追加

DVR/NVR のカメラを一括で設定する方法です。

登録装置一覧を右クリックして[デバイスをプライベートに追加]を選択します。



デバイスの種類は”DVR/NVR-H264”を選択します。

カメラ名称、IP アドレス/DNS 名、HTTP ポート、ユーザー名、およびパスワードなどを入力します。

接続をテストするために[Connect]ボタンをクリックします。接続が成功したら[OK]をクリックすると DVR/NVR の全カメラが追加されます。各カメラ名は DVR/NVR で登録された名称が利用されます。

追加後は 1.5.1 と同様に、登録装置一覧から装置を選択してマウスでドラッグしてカメラビューに追加することで、リアルタイム画像の視聴、リモート再生、バックアップなどの機能を開始できます。

Private Device

正しいユーザー名とパスワードを入れてから“Connect”をクリックして接続を確認してください

カメラの名称

デバイスの種類: DVR/NVR-H264

IPアドレス/DNS名

HTTPポート (例: 80): 80

Onvifポート (オプション): 0

Videoポート: 554

設置場所

ユーザー名

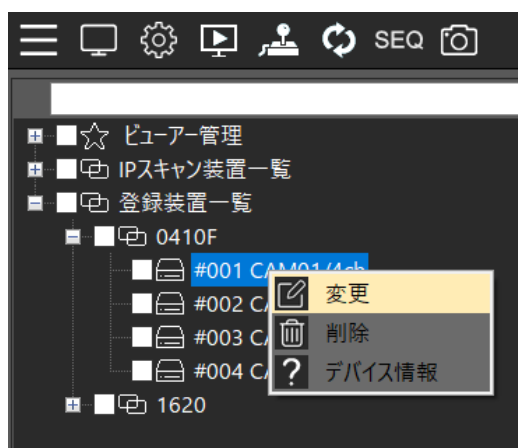
パスワード

Connect

OK CANCEL

1.5.3 登録した装置の接続情報を変更する

変更したいカメラで右クリックして[変更]をクリック



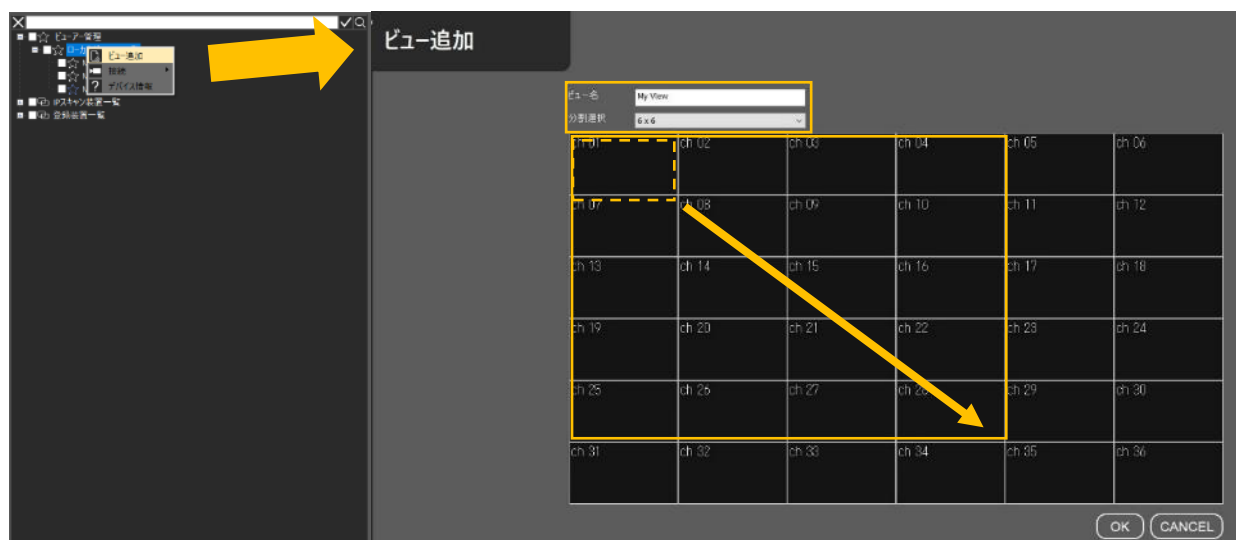
IP アドレス/DNS 名、HTTP ポート、ユーザー名、およびパスワードなどの接続情報を変更します。
次に[Connect]ボタンをクリックして、装置との接続をテストします。接続が成功したら[OK]をクリックして変更を完了します。
設定が完了すると、変更した接続情報でライブビュー、リモート再生、バックアップなどの機能を使用できるようになります。

1.6 ウィンドウビュー

ローカルビューアー一覧 配下で、右クリックで[ビュー追加]を選び、追加のビュー名称を入力します

- ビュー名:ビュー名称を入力します。
- 分割選択:表示分割数を選びます。

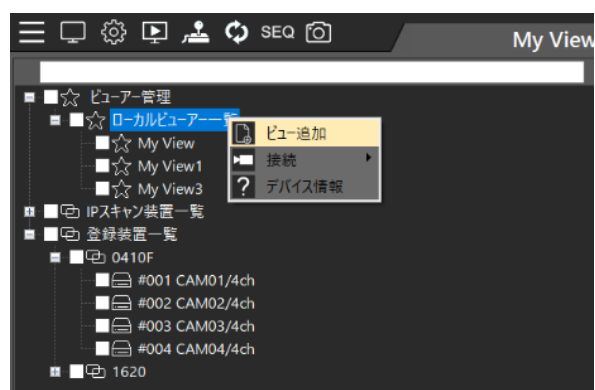
マウスカーソルのドラッグで自由にグループビューの分割画面編集が可能です。



サンプルライブビュー

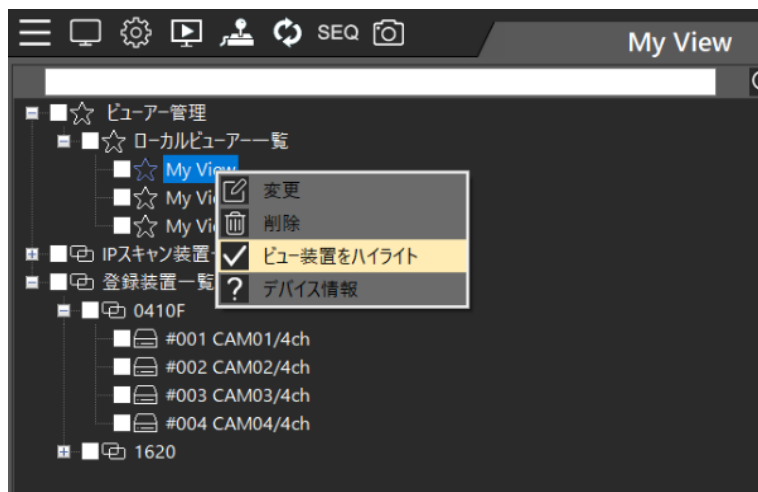


1.6.1 ローカルビューアー一覧の右クリックメニュー



- ビュー追加: 分割画面にグループビューを追加します。
- 接続: 表示中のビューに対して、すべての装置を接続、すべての装置を切断、すべての装置を削除が実行できます。
- デバイス情報: グループ名、発信元 IP アドレス、グループ数を表示します。

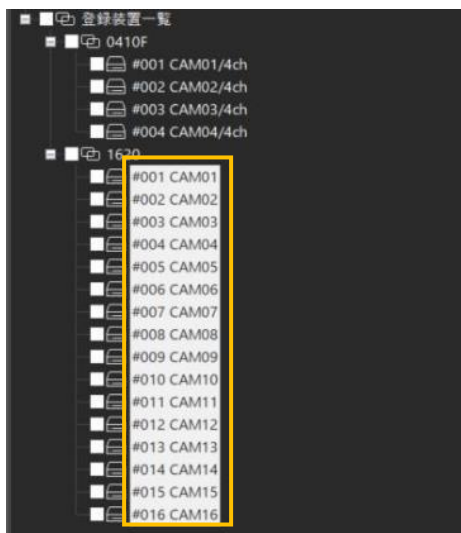
1.6.2 ビューグループの右クリックメニュー



- 変更: グループ名と分割画面を変更します。
- 削除: グループを削除します。
- ビュー装置をハイライト: グループ内の装置を IP スキャン装置一覧および登録装置一覧でハイライト表示します。
- デバイス情報: グループ名、グループ番号、分割数、接続数を表示します。

1.6.3 カメラのハイライト

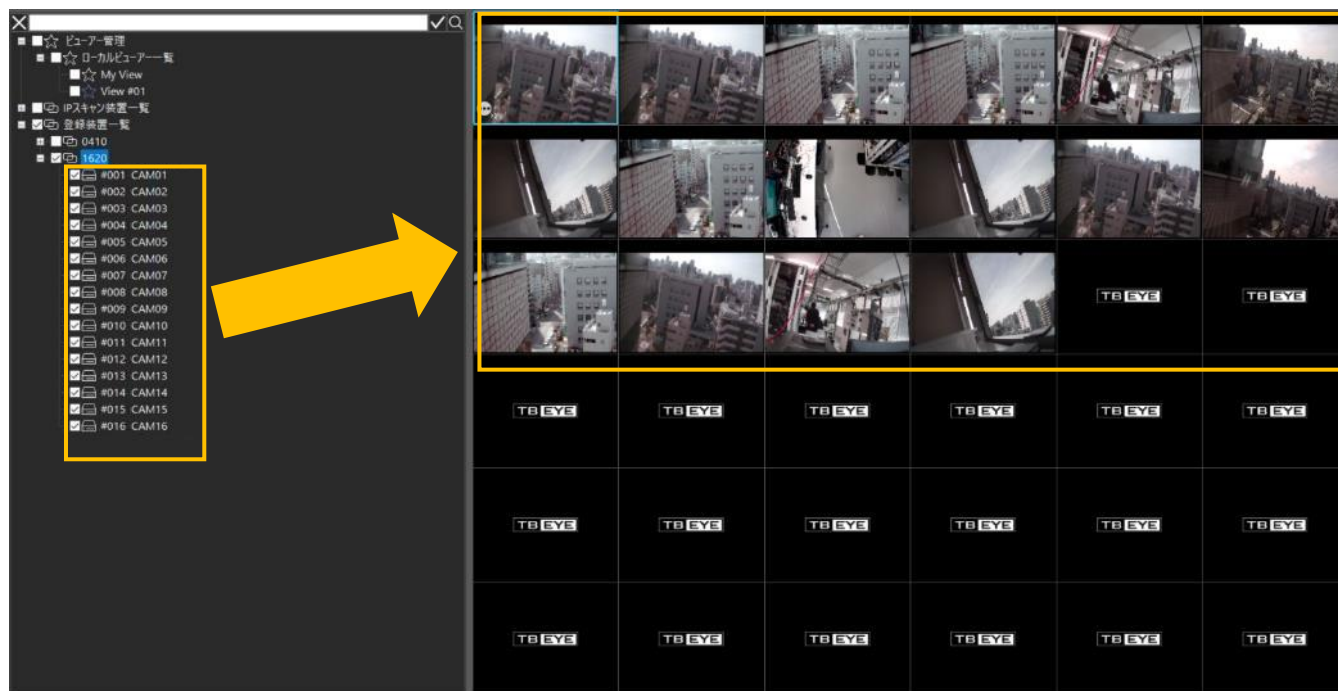
[ビュー装置をハイライト]はグループに追加された装置すばやく見つけ、それらを強調表示してリマインダーとして機能します。



第2章 View Manager のライブモニタリング

2.1 ライブビューグループ設定

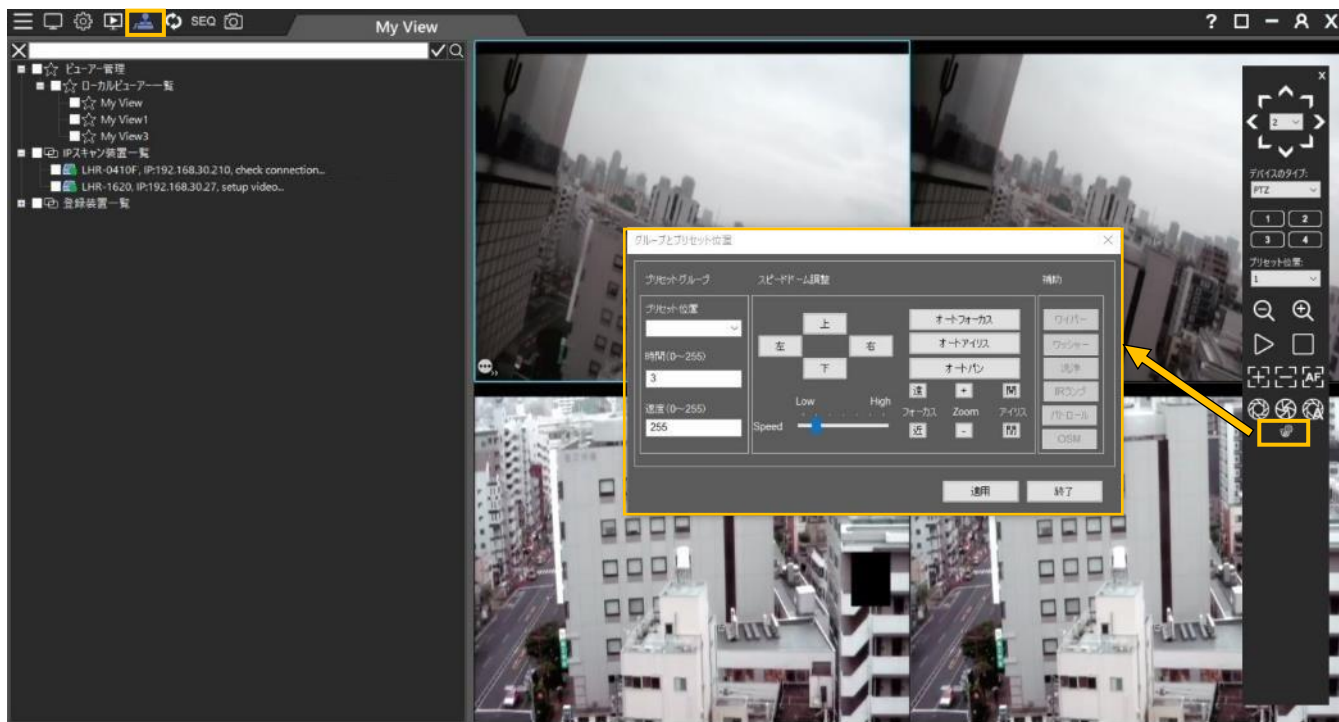
[登録装置一覧]をクリックして、装置を選択して左側のペインから右側のペインにドラッグします。複数の装置をチェックして、それらを右にドラッグすることもできます。



2.2 PTZ コントロール

PTZ カメラを選択し、[PTZ コントロール]をクリックします。プリセットの呼び出し、PTZ 操作、フォーカス、ズームなどの機能が利用できます。これらの機能は、ネットワークを介して操作できます。

Note: カメラ、レコーダーにより利用可能な機能が異なります。



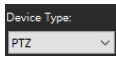
2.2.1 ビュー画面上での PTZ コントロール

単一画面モードでは、画面上の制御アイコン  をクリックしてマウスを使用した PTZ 制御を有効にできます。

PTZ のズームインとズームアウトには、マウスのスクロールホイールを使用します。

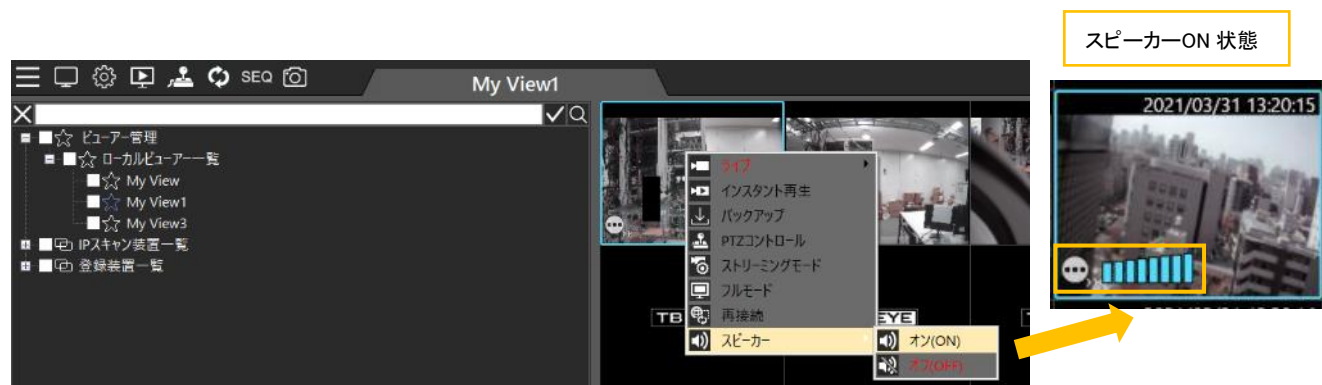


2.2.2 PTZ コントロールパネル

アイコン	機能	説明
	方向ボタン	PTZ を上下左右を含む 8 つの異なる方向に回転させます。
	移動速度	PTZ 回転の速度の選択です(最大 7)。
	デバイスタイプ	サポートされているカメラデバイスタイプを選択します。
	プリセット	最大 4 つのプリセットをすぐに呼び出すことができます。
	プリセットポイント	最大 128 のプリセットを選択できます。
	拡大縮小+/-	ズームイン/ズームアウトを調整します。
	PTZ Auto Pan	☒ Auto Pan 開始 ☐ Auto Pan 停止
	フォーカス	マニュアルフォーカス +/-、オートフォーカス AF
	アイリス	マニュアルアイリス開/閉、オートアイリス
	プリセット設定	プリセット位置を設定します。

2.3 カメラ右クリックメニュー

ビュー画面でマウス右クリックするとメニューが表示されます。



- ライブ: モニタリングを中止(切断)するか、チャンネルを削除することができます。
- インスタント再生: ビュー表示後、初回実行時の 5 分前の録画を再生します。
2 回目以降は前回再生の続きを再生します。

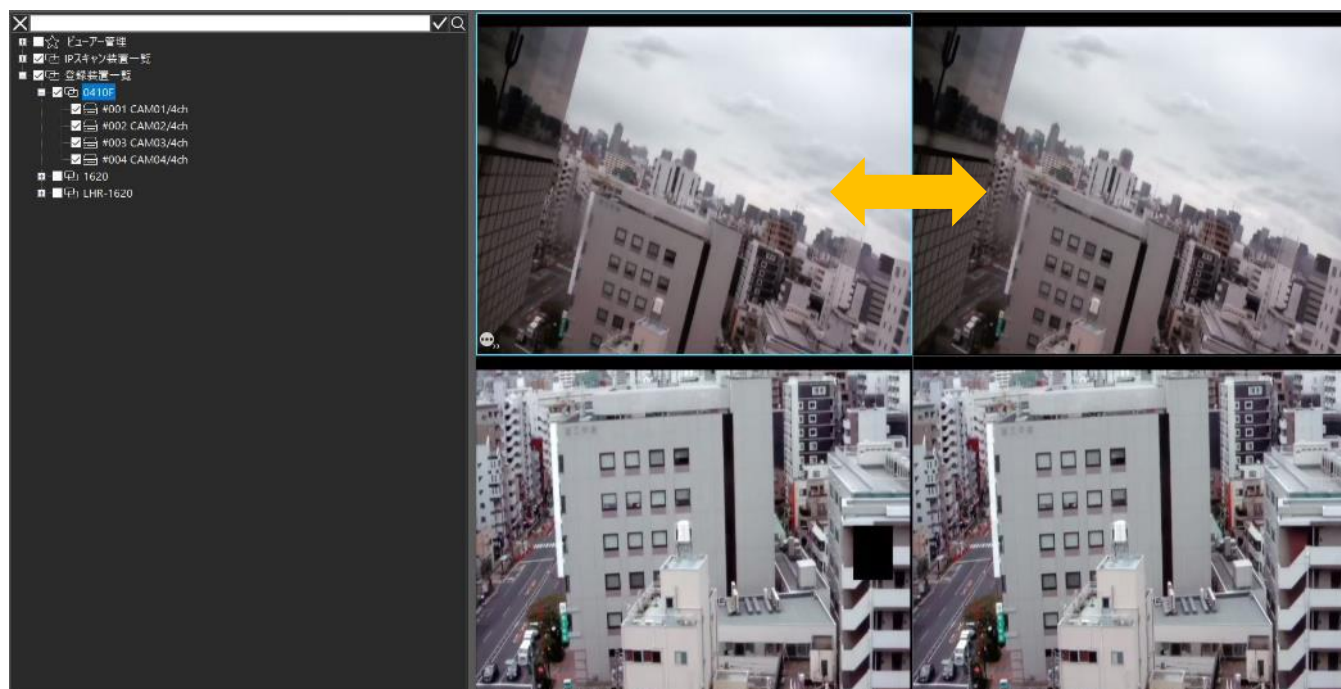
- バックアップ: シングルチャネルバックアップ(付録 1 参照)。選択した 1 チャンネルのみのバックアップです。
通常のバックアップはリモート再生のバックアップ(3 章)を使用します。
- PTZ コントロール: PTZ コントロールパネルを表示/非表示します。
- ストリーミングモード: ストリーミングモード画面を表示します。
- フルモード: ビュー画面をフルスクリーンで表示します。
画面右上のフルモードボタンでも同じ操作が可能です。
フルスクリーンから通常画面への復帰は右クリックメニューまたはエスケープキーで行います。
- 再接続: 装置を再接続します。[ライブ]→[切断]で中止したモニタリングの再開が可能です。
- スピーカー: 音声出力の ON/OFF を切り替えます。



Note: 選択したカメラの音声の流れます、ボリュームは PC のボリュームコントロールで変更してください。

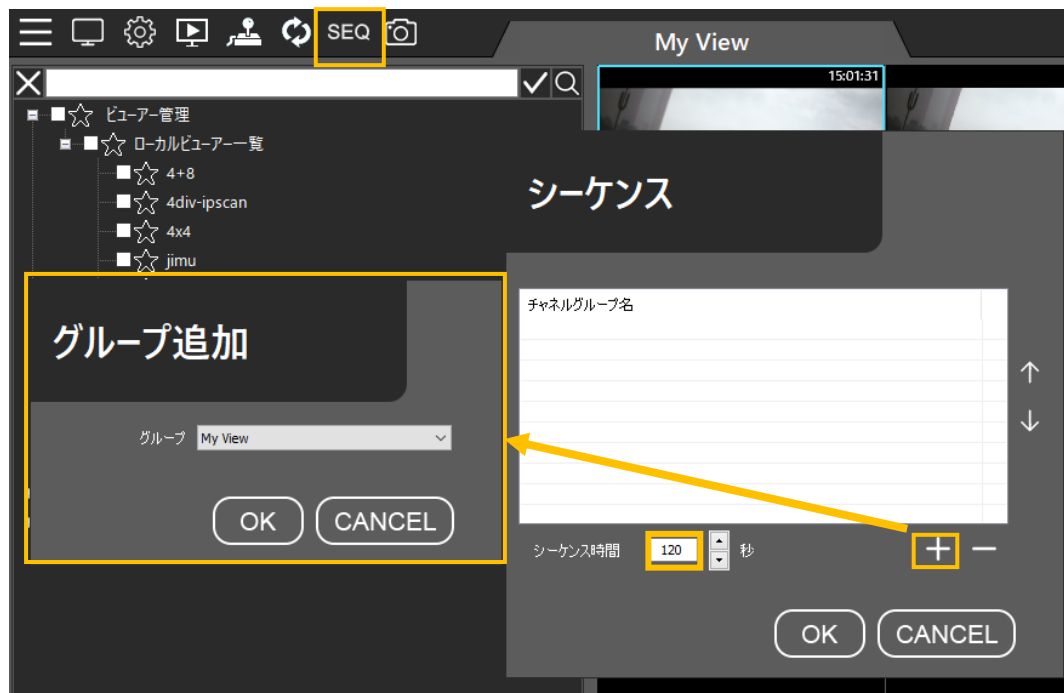
2.4 動的なビデオチャンネル変更

カメラチャンネルのレイアウトを替えたい場合、カメラをドラッグして他のチャンネルにドロップして入れ替えることが可能です。この操作は、カメラのスクリーン上の位置を動的に入れ替えることを可能にしています。特定のカメラの位置を設定完了後に変えたい場合、設定をし直す必要がありません。



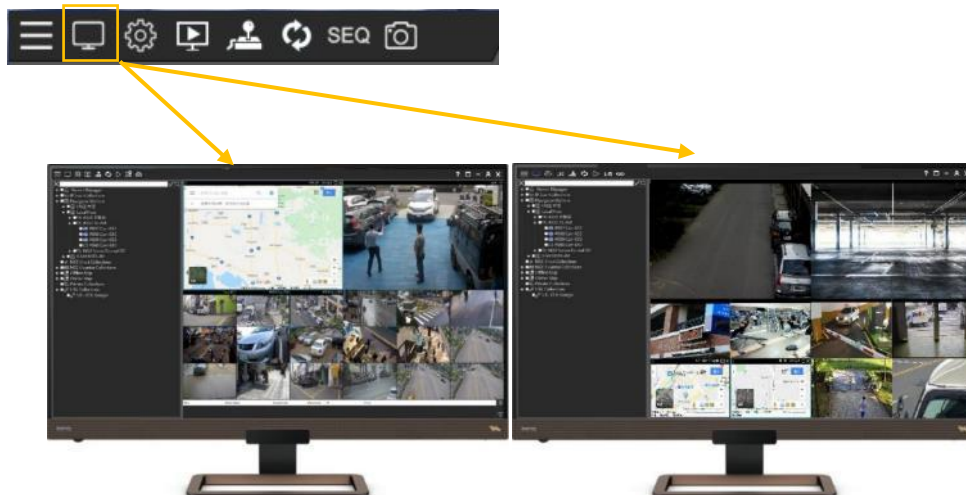
2.5 シーケンス表示

[SEQ]ボタンをクリックするとシーケンスの設定画面が表示されます。ビューグループからシーケンス対象のビューを選択しシーケンス作動時間を設定してシーケンスを作成できます。[OK]を押すと設定したビューを順番に表示できます。



2.6 デュアルスクリーンモニタリング

セカンダリモニタ出力が可能な PC の場合、アイコンをクリックしてセカンド画面を立ち上げることができます。デュアルスクリーン環境で別々のモニタリングが可能です。

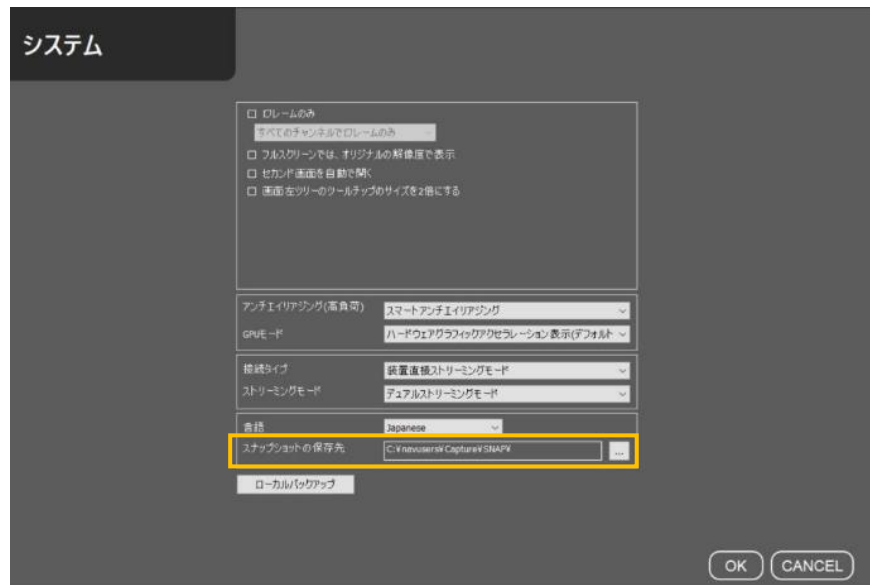


Note: システム設定とチャンネルグループ設定は、メイン画面でのみ設定できます。

セカンド画面のアイコンはブルーのアイコンに変わります。(メイン画面、 セカンド画面)

2.7 スナップショット

[システム設定]で、スナップショットの保存先を設定します。[スナップショット]アイコンをクリックすると、ビューグループ全体の画像と各チャンネルの画像をキャプチャします。

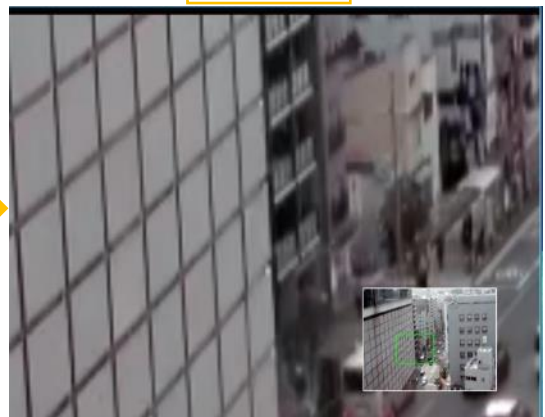
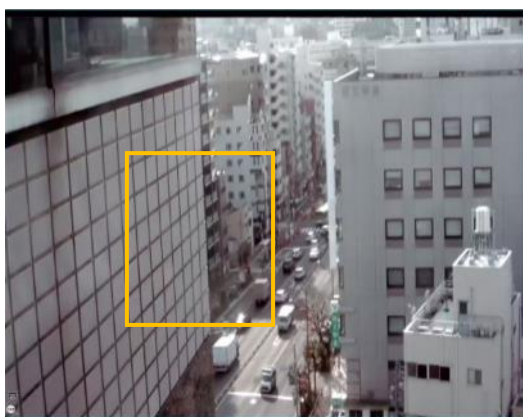


Note: 保存先を設定すると、“SNAP”フォルダが自動的に生成され、以降のすべてのスナップショットがSNAP フォルダに保存されます。

2.8 拡大表示

単一画面表示にてマウスで拡大したい部分をドラッグすることで拡大表示します。
マウスを右クリックすると拡大表示を終了します。
ライブ画面、リモート再生画面の両方で使用できます。

拡大画面



第 3 章 リモート再生とバックアップ

リモート再生を実行するには、[リモート再生]  アイコンをクリックします。

リモート再生画面が起動し、ライブ画面で選択中のカメラが接続された DVR/NVR に自動的にログインして、リモートで再生およびバックアップが可能になります。

マウスでドラッグすることで画面配置の変更が可能です。(リモート再生起動時は DVR/NVR 本体のレイアウトです)



アイコン	機能	説明
	画面分割	1、4、9、16、25、36 分割画面を選択可能
	停止	再生停止
	再生	再生開始
	一時停止	一時停止
	遅い巻き戻し	速度 $-(1/2X)$ 、 $-(1/4X)$ 、 $-(1/8X)$
	早い巻き戻し	速度 $-1X$ 、 $-2X$ 、 $-4X$ 、 $-8X$ 、 $-16X$ 、 $-32X$
	早送り	速度 $1X$ 、 $2X$ 、 $4X$ 、 $8X$ 、 $16X$ 、 $32X$
	遅い再生	速度 $(1/2X)$ 、 $(1/4X)$ 、 $(1/8X)$
	設定	リモート再生設定メニューを表示

	バックアップ	バックアップ画面を表示
	スナップショット	スナップショット(表示カメラのグループ全画面、各チャンネル画面)
	スナップショットパス	スナップショットの保存先を設定
	イベントリスト	アラームイベントリストの表示(動き検出など)
	スピーカー	スピーカーON/OFF

3.1 リモート再生設定

リモート再生設定は、次のように表示されます。



- (1)CMX 用 I フレームのみ:CPU 負荷を軽減するための設定です。リモート再生を実行する場合に NAV が同時動作しているとIフレームのみを表示します。(View Manager 単独動作時は影響しません)
- (2)I フレームのみ:リモート再生の場合に CPU 負荷を軽減するために、再生を 1 秒あたり 1 フレーム表示するかどうかを設定します。
 - すべてのチャンネルで I フレームのみ:リモート再生時に、すべてのチャンネルが 1 秒あたり 1 フレーム再生します。
 - 選択中のチャンネル以外 I フレームのみ:リモート再生時に選択されたチャンネルは通常どおり再生され、残りのチャンネルは 1 秒あたり 1 フレーム再生されます。
- (3)フルスクリーンでは、オリジナルの解像度で表示:単一画面表示時に元の画像サイズで表示します。
- (4)標準分割画面:リモート再生の起動時の分割画面数を設定できます。
- (5)言語:リモート再生表示言語。
- (6)POS テキスト:リモート再生 POS 文字表示設定。(DVR/NVR との組み合わせでは使用しません)

(7) スマートアンチエイリアシング: 選択中のチャンネル画像のエッジをスムージングします。

アンチエイリアシング(高負荷): 全チャンネル画像のエッジをスムージングします。CPU リソースを消費します。

アンチエイリアシング無効: 画像のエッジスムージングを無効にします。

(8) ハードウェアグラフィックスアクセラレーション表示

●ハードウェアグラフィックスアクセラレーション表示(デフォルト): CPU ハードウェアアクセラレーションビデオデコード(デフォルト)。

●GPU デコード表示(表示優先): Intel または NVIDIA グラフィックカード GPU ハードウェアアクセラレーションによる表示とデコード。画像表示が最優先で、画質、帯域幅は第二優先で表示します。16 画面以下で使

●GPU デコード表示(デコード優先): Intel または NVIDIA グラフィックカード GPU ハードウェアアクセラレーションによる表示とデコード。デコードが優先処理され、その後、ビデオが表示されます。16 画面以上で使

(9) ユーザー定義の POS 設定: リモート再生 POS 文字表示設定。(DVR/NVR との組み合わせでは使用しません)

●ラインの長さ: POS ラインの最大数。

●持続時間: POS 持続時間の最大期間。

Note: CPU 負荷が高い場合、軽減するために 1 秒あたり 1 フレームにすることができます。

CPU 使用率が低い場合は、チェックボックスをオフにて通常表示にします。

3.2 リモート再生

1 台の DVR/NVR に録画された映像を再生します。

①カレンダーの日付を選択します。

②開始時刻と終了時刻を指定します。

③[検索]ボタンをクリックしてビデオを検索します。(検索モード:[レコーダー]を使用)

④検索結果から再生する時刻をクリックすると再生開始します。

カレンダーの色が赤色の日は録画データがある日です。再生時間設定にて再生日時(分単位)を確認出来ます。

画面下の各操作ボタンを使用して再生操作が可能です。



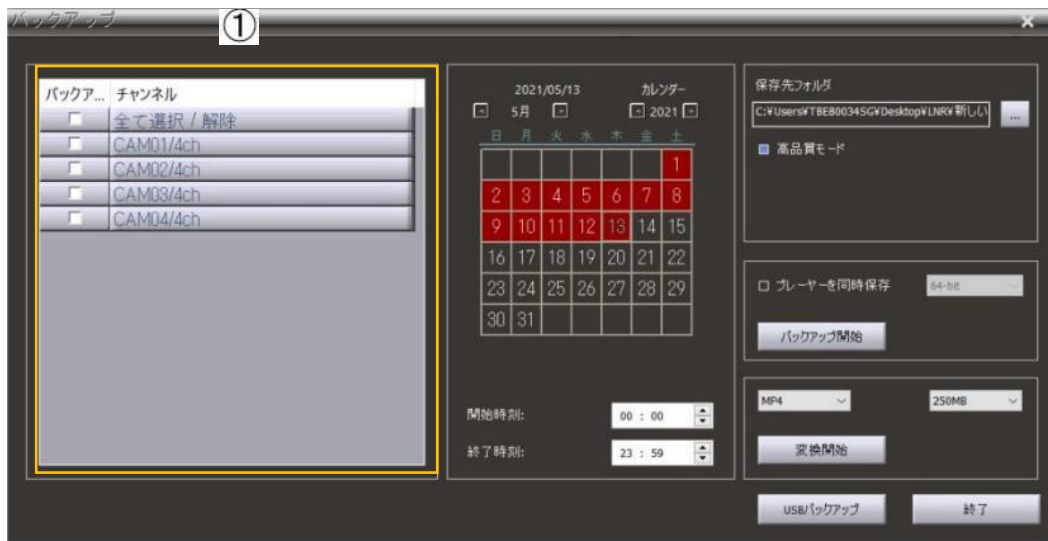
Note: タイムバーはクリックすると全体の 1/5 単位で移動します。
時間調整バーをドラッグすることで 1 分単位で移動できます。

Note: 画面右上の[メイングループ]の左のボタン  はクリックすると DVR/NVR との接続が解除されます、
通常はクリックしないでください。

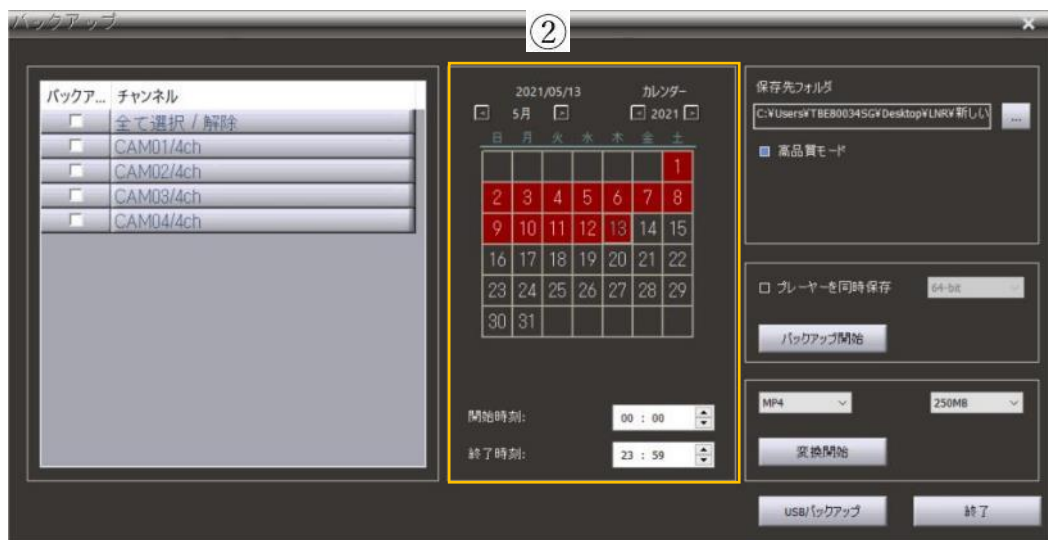
3.2.1 リモートマルチチャンネルバックアップ

リモート再生画面では、バックアップおよび AVI/MP4 形式の変換、ダウンロードをサポートしています。
バックアップを実行するには[バックアップ]  ボタンをクリックしてチャンネルを選択します。日付、時刻、および保存先を
指定します。最後に、[バックアップ開始]または[変換開始]を選択して、チャンネルのバックアップを実行します。
DVR/NVR に直接接続した USB メモリへのバックアップ操作も可能です。

①チャンネル画面でバックアップするチャンネル選択可能です。

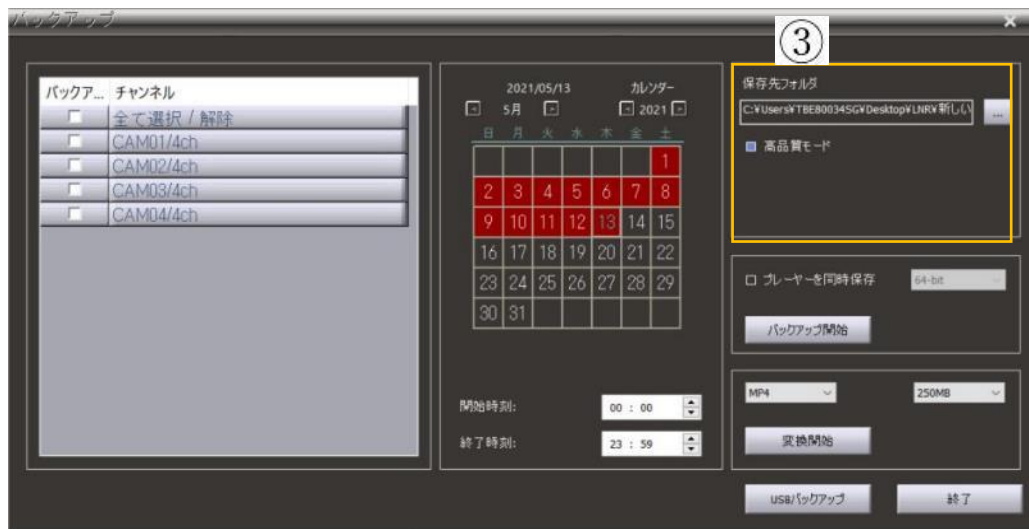


②カレンダーから日付を選択し、バックアップ期間(開始時刻、終了時刻)を設定します。



③[保存先フォルダ]を指定します。

[高画質モード]をチェックすると DVR/NVR のセカンダリストリーム(高解像度側)をバックアップします。

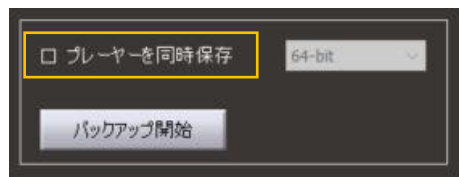


3.2.1.1 MPlayer 形式のバックアップ

MPlayer は保存した映像確認するためのソフトウェアです。

[プレイヤーを同時保存]をチェックすると保存先にコピーされます。

[バックアップ開始]をクリックしてバックアップ開始します。



MPlayer はリモート再生と同じ使い方です。

3.2.1.2 バックアップ画像変換フォーマット

バックアップ画像変換フォーマット: AVI、MP4 から選択します。(H.265 の場合は MP4 になります)

画像変換分割サイズ: 250MB、500MB、750MB、1GB から選択します。

[変換開始]をクリックして画像変換を開始します。



3.2.1.3 USB バックアップ

DVR/NVR に直接接続した USB にバックアップする方法です。

DVR/NVR に USB を接続した状態で[USB バックアップ]ボタンを押すと USB バックアップ画面が表示されます。

[バックアップ]ボタンを押すと DVR/NVR に接続された USB へのバックアップが実行されます。

DVR/NVR 本体でバックアップ操作した場合と同じデータ形式となりますので、再生方法は DVR/NVR の説明を参照してください。



3.2.2 スナップショット

ビデオを静止画像でキャプチャしたい場合、スナップショットを押すと画像が JPEG ファイル形式で保存されます。表示されたカメラ全画面と各カメラの画面が保存先フォルダに保存されます。

Note: 保存先を設定すると、“SNAP”フォルダが自動的に生成され、以降のすべてのスナップショットが SNAP フォルダに保存されます。

3.3 リモートイベント再生の検索とバックアップ

リモートから DVR/NVR のアラームイベントを表示し、映像の再生とバックアップを実行するには、[リモート再生]アイコンをクリックし、リモート再生画面で[選択モード]を[アラーム]に設定することでイベントの記録を表示します。



Note: 選択モードの[POS]は DVR/NVR との組み合わせでは使用しません。

[検索]ボタンを押すと検索設定画面が表示されます。

- すべてのイベントを選択: 固定の設定です。
- プレビュー時間: イベント発生前の再生時間を設定します。イベント発生前の録画データがある場合に有効です。
- イベント後再生時間: イベント発生後の再生時間を設定します。
- 単一のイベントを再生する: 有効にすると選択したイベントのみ再生します。
無効の場合は選択したイベント時刻以降を再生します。

3.3.1 イベント再生

イベント一覧検索方法

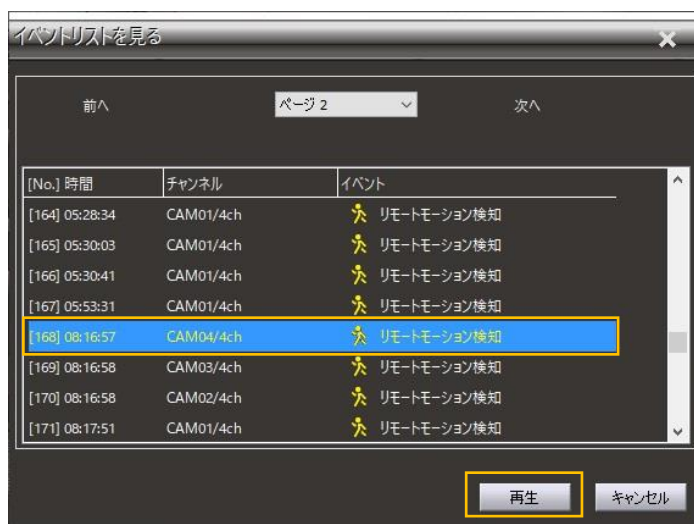
選択モードに[アラーム]を設定して、カレンダーで日付を指定し「開始時刻」、「終了時刻」をそれぞれ選択します。

[検索]をクリックして検索を実行すると結果がイベント欄に表示されます。

検索結果から再生するイベントをクリックすると再生開始します。



[イベントリスト]ボタンでイベント一覧を表示します。



Note: 検索結果のイベント数が一定数を超えると一覧表示がされません、期間を短くして試してください。

3.3.2 スマートイベント再生

[イベントのみを再生]をチェックすると、アラームイベントが終了するまですべてのアラームイベントが自動的に再生されます。イベントが発生したカメラを1画面で表示します。

Note: 検索設定で[単一のイベントを再生する]を有効にしている場合は自動再生されません。



タイムバーのカラーコード:



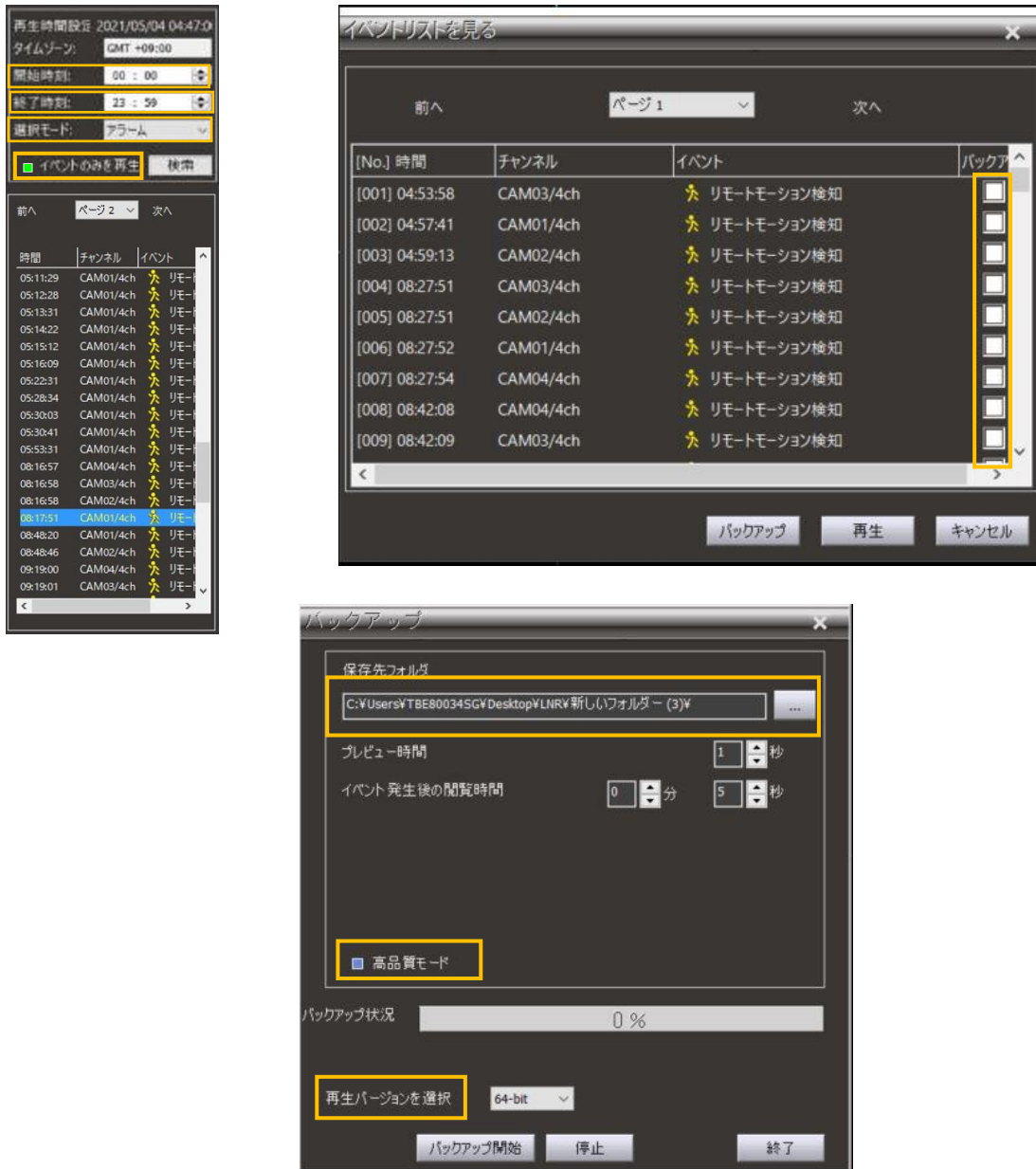
白: 録画なし

紫: 連続録画

黄～緑: イベント録画。色はイベントの頻度に応じて変化します。頻度の範囲は1～10です。イベントの頻度が高くなると、色は緑に変わります。

3.3.3 イベントバックアップ

[イベントのみを再生]をチェックして、[イベントリスト]ボタンをクリックするとイベントバックアップのためのリストが表示されます。バックアップするイベントをチェックして、[バックアップ]をクリックするとバックアップ画面が表示されます。



ファイル形式はマルチチャンネルプレイヤー用 NAV ファイル形式で、同時に保存される MPlayer アプリケーションで再生できます。

- 宛先ディレクトリ: 保存先フォルダを設定します。
- プレビュー時間: イベント発生前の保存時間を設定します。プリアラームのイベント記録です。
- イベント発生後の閲覧時間: イベント発生後の保存時間を設定します。
- 再生バージョンの選択: Windows 64 ビットまたは 32 ビットの MPlayer アプリケーション。
- 高品質モード: チェックすると DVR/NVR のセカンダリストリーム (高解像度側) をバックアップします。

第 4 章 カメラビュー設定

システム設定



1. 1フレームのみ: システムリソースが不足している場合、ライブビューの CPU 負荷を軽減するために 1 秒あたり 1 フレームを表示する設定が可能です。

- すべてのチャンネルで1フレームのみ: すべてのチャンネルが 1 秒あたり 1 フレームを表示します。
- 選択中のチャンネル以外1フレームのみ: 選択されたチャンネルは通常どおり表示され、残りのチャンネルは 1 秒あたり 1 フレームを表示します。

2. フルスクリーンでは、オリジナルの解像度で表示: 単一画面表示時に元の画像のサイズで表示します。
(チェックされていない場合は画像を最適な表示領域に自動的に調整します)。

3. セカンド画面を自動で開く: View Manager が起動されるたびにセカンド画面が自動的にアクティブになります。

4. 画面左ツリーのツールチップのサイズを 2 倍にする: ツリーにマウスを合わせたときの情報表示サイズを 2 倍にします。
下記※に画面例

5. アンチエイリアシング(高負荷)

スマートアンチエイリアシング: 選択中のチャンネル画像のエッジをスムージングします。

アンチエイリアシングモード(高負荷): 全チャンネル画像のエッジをスムージングします。CPU リソースを消費します。

アンチエイリアシング無効: 画像のエッジスムージングを無効にします。

6. GPU モード: CPU ハードウェアグラフィックアクセラレーション表示(デフォルト)のみ選択可能です。

7.接続タイプ:装置直接ストリーミングモードのみ選択可能です。

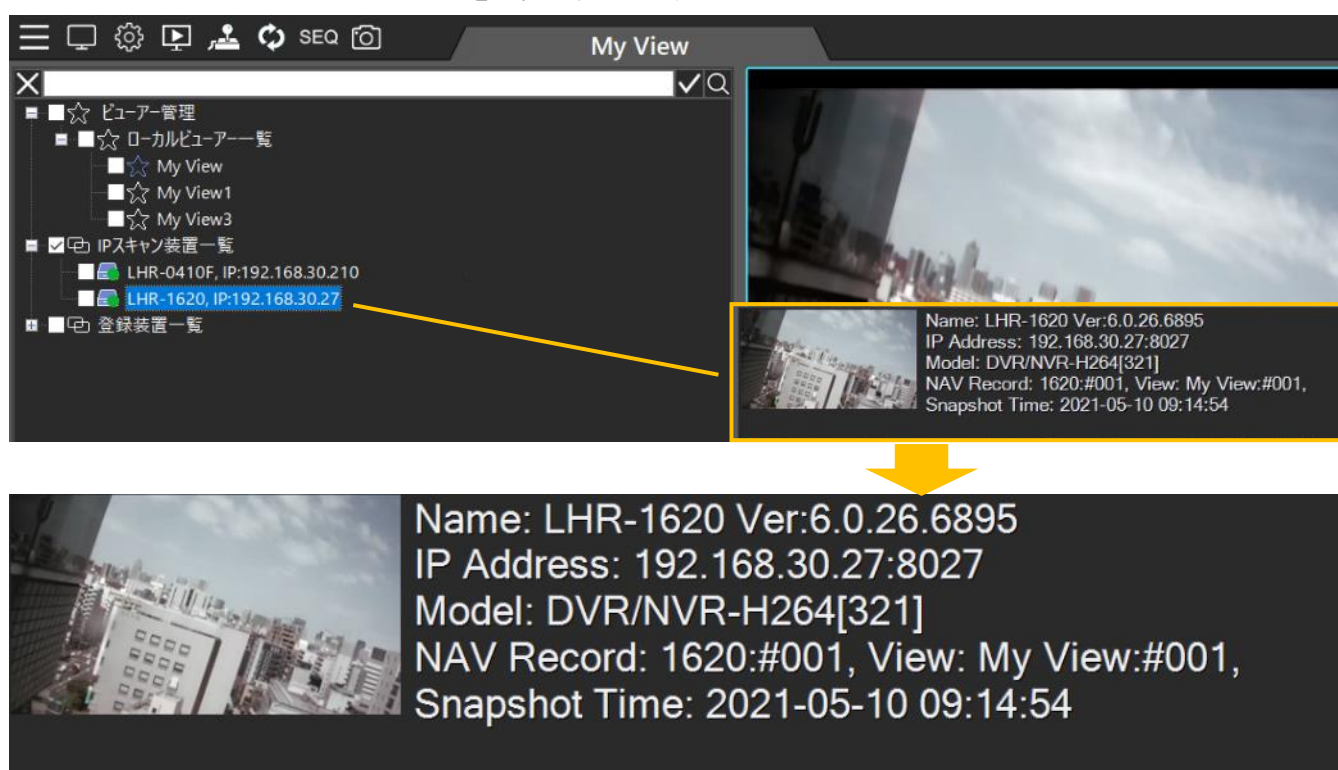
8.ストリーミングモード:モニタリング時のストリーミングモード

- デュアルストリーミングモード:デュアルストリーミングモード(分割画面時 SD、単一画面時 HD を表示)。
- HD ストリーミングモード:HD ストリームを表示。
- SD ストリーミングモード:SD ストリームを表示。

9.言語:View Manager の表示言語。

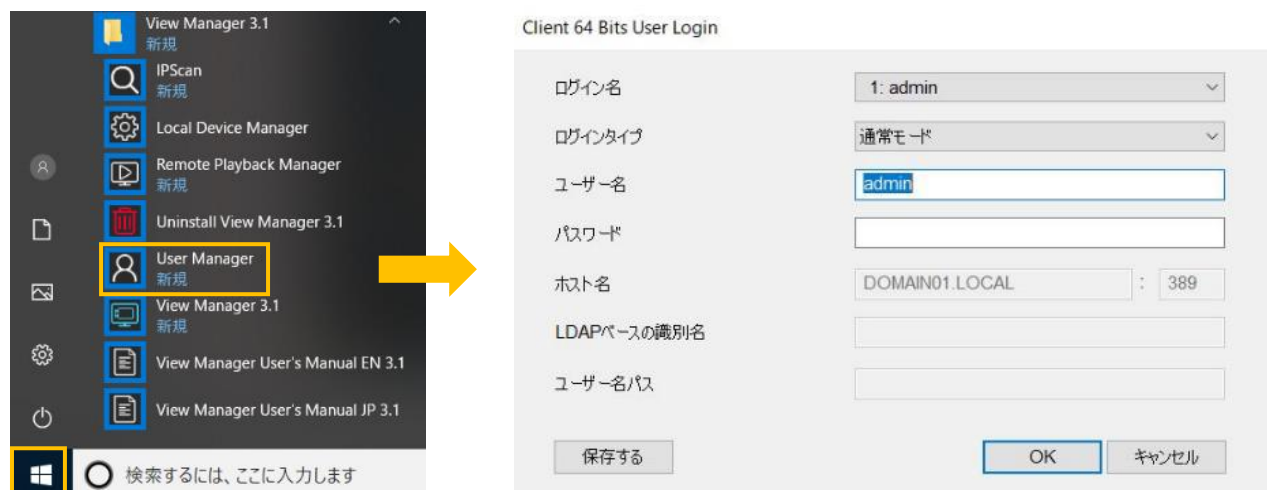
10.スナップショットの保存先:スナップショット保存先を指定します。

※:画面左ツリーのツールチップのサイズを 2 倍にする画面例



第5章 ユーザー管理

ユーザー管理を行うにはウィンドウズのスタートメニューから[User Manager] アイコンをクリックします、View Manager と同様にログインタイプは“通常モード”を使用してユーザー名“admin”でログインします。64 のユーザーグループの管理が可能です。各グループには操作とカメラへのアクセス権限を設定可能で、個別のアカウントを割り当てることができます。



5.1 ユーザー追加

デフォルトでユーザーグループ“admin”とユーザー名“admin”が登録されています。ユーザーグループ“admin”に含まれるユーザーが admin 権限を持ちます。“admin”以外のユーザーグループを使用するときはプルダウン操作で選択、または追加してください。

ユーザーを追加するには、ユーザーグループを選択し[追加]をクリックして、[追加ユーザー]ダイアログボックスに必要な情報(新規ユーザー名、Password、パスワード確認)をそれぞれ入力してください。

[OK]をクリックしてユーザーを追加したあと、[保存]をクリックして設定を保存します。



5.2 作成したユーザーの編集

パスワード変更:

ユーザーグループとユーザーを選択し、[パスワード]をクリックしてユーザーのパスワードを変更できます。

ユーザーの削除:

ユーザーを削除するには、ユーザーグループとユーザーを選択して[削除]を押して[OK]をクリックします。

ユーザー権限の編集:

ユーザーグループ”admin”以外のユーザーグループについては、ユーザー権限の編集が可能です。

View Manager 機能への各ユーザーアクセス権限を指定するには[操作]タブをクリックして、

アクセス権を与える機能にチェックをつけます。

登録装置への各ユーザーのアクセス権限を指定するには[装置]タブをクリックして、

アクセス権を与える装置にチェックをつけます。

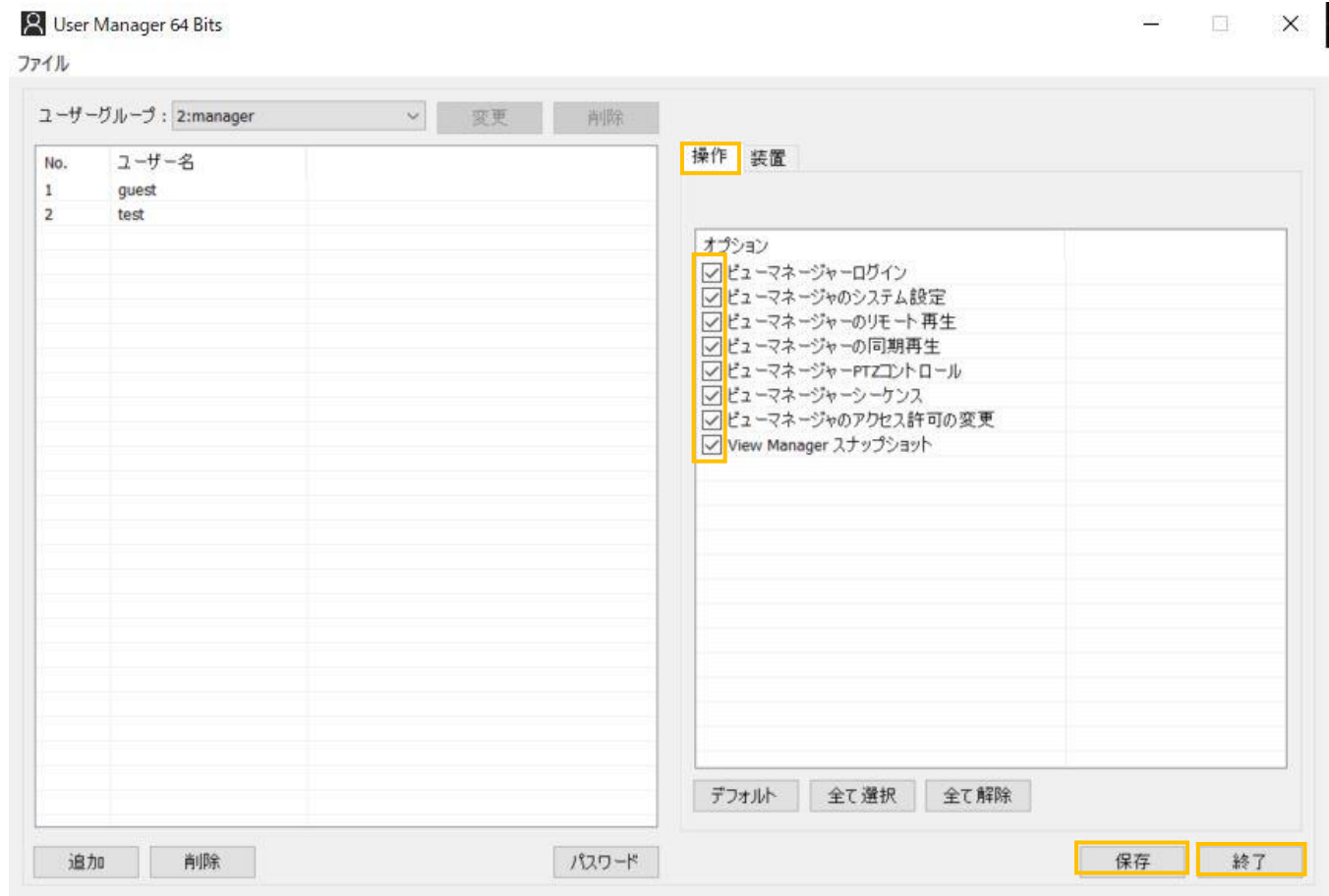
編集後は[保存]を押して[終了]をクリックして設定を保存します。

Note: 設定後はアプリケーションを再起動してください。

5.3 操作アクセス管理

ユーザーグループについてアクセスできる操作を選択出来ます。

アクセス許可する操作についてチェックをつけて、設定が完了したら[保存]ボタンと[終了]ボタンをクリックします。



各権限の概要:

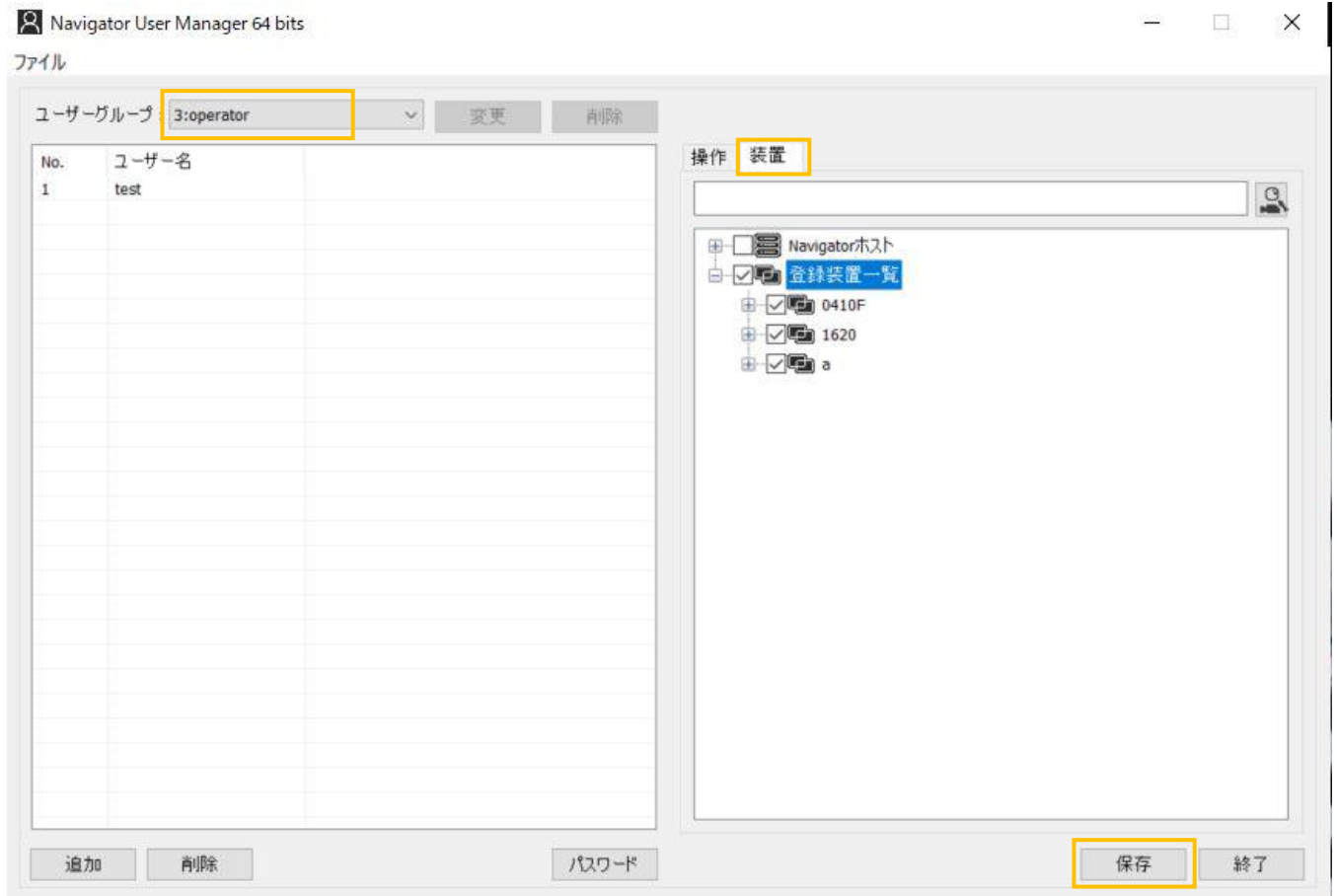
- ビューマネージャーログイン: ログイン/ログアウト操作
- ビューマネージャーのシステム設定: システム設定操作
- ビューマネージャーのリモート再生: リモート再生操作
- ビューマネージャーの同期再生: 同期再生操作
- ビューマネージャーPTZ: PTZ 操作

- ビューマネージャーシーケンス:シーケンス表示操作
- ビューマネージャーのアクセス許可の変更:ビューの追加・変更、ビュー画面の編集(カメラの追加・削除・移動)
ビュー画面右クリックメニュー(スピーカー以外)、登録装置一覧の変更操作など
- View Manager スナップショット:ライブ画面のスナップショット操作

5.4 装置アクセス管理

View Manager での登録装置一覧への装置の追加は”admin”権限ユーザーでのみ可能なため、”admin”以外のユーザーグループを使用する場合、登録装置へのアクセス権をあらかじめ設定しておく必要があります。

“admin”権限ユーザーで登録装置一覧へ装置を登録したあとに、[User Manager]でユーザーグループを選択し、右側の[装置]タブをクリックします。ユーザーにアクセスを許可する装置にチェックをつけてください。設定が完了したら[保存]ボタンと[終了]ボタンをクリックします。

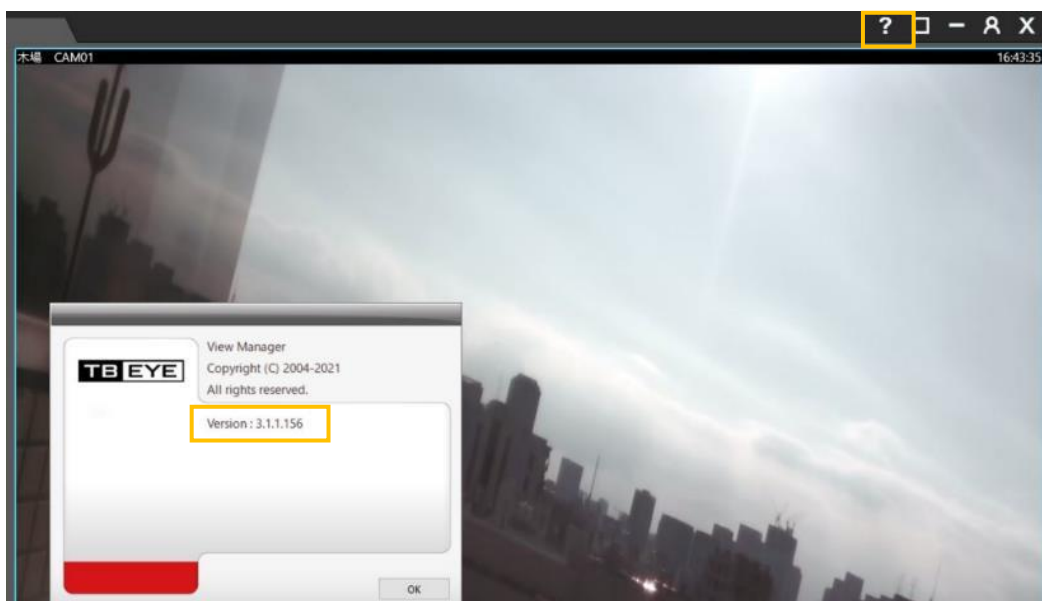


Note: 設定後はアプリケーションを再起動してください。

第 6 章 システム構成のインポートとエクスポート

View Manager バージョン確認

[?] をクリックするとバージョン確認出来ます。



[システム設定]アイコンを選択し、[ローカルバックアップ]ボタンをクリックして、設定のエクスポート/インポートが可能です。

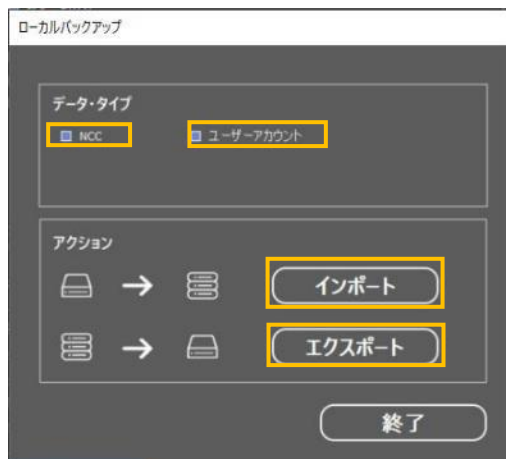


次の図に示すように、ユーザーアカウントと登録装置などの情報がエクスポートできます。ユーザーパスワードなどの機密情報は、ネットワーク情報のセキュリティ保護を確実にするために AES256 で暗号化されています。

ユーザーアカウント:ユーザーアカウント管理

NCC:ビューグループの設定と登録装置一覧の情報

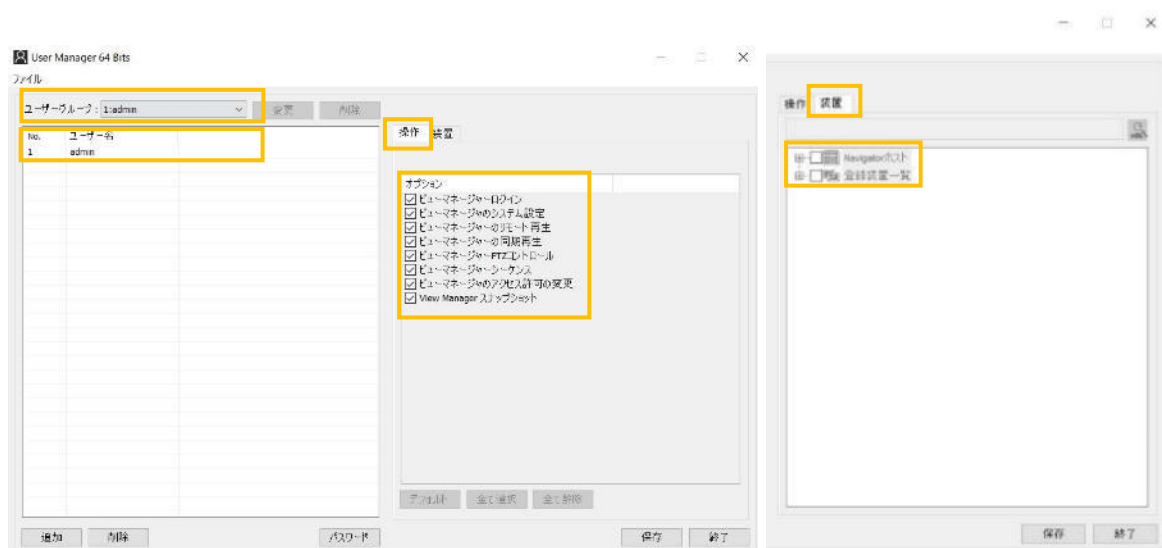
エクスポートとインポート操作が可能です。



6.1 ローカルバックアップのインポート先

ローカルバックアップをインポートしたとき、次の場所に反映されます。

- ユーザーアカウント:ユーザーアカウントと権限情報がバックアップされます。



●NCC:ビューアー管理のビューグループと登録装置一覧の情報がバックアップされます。



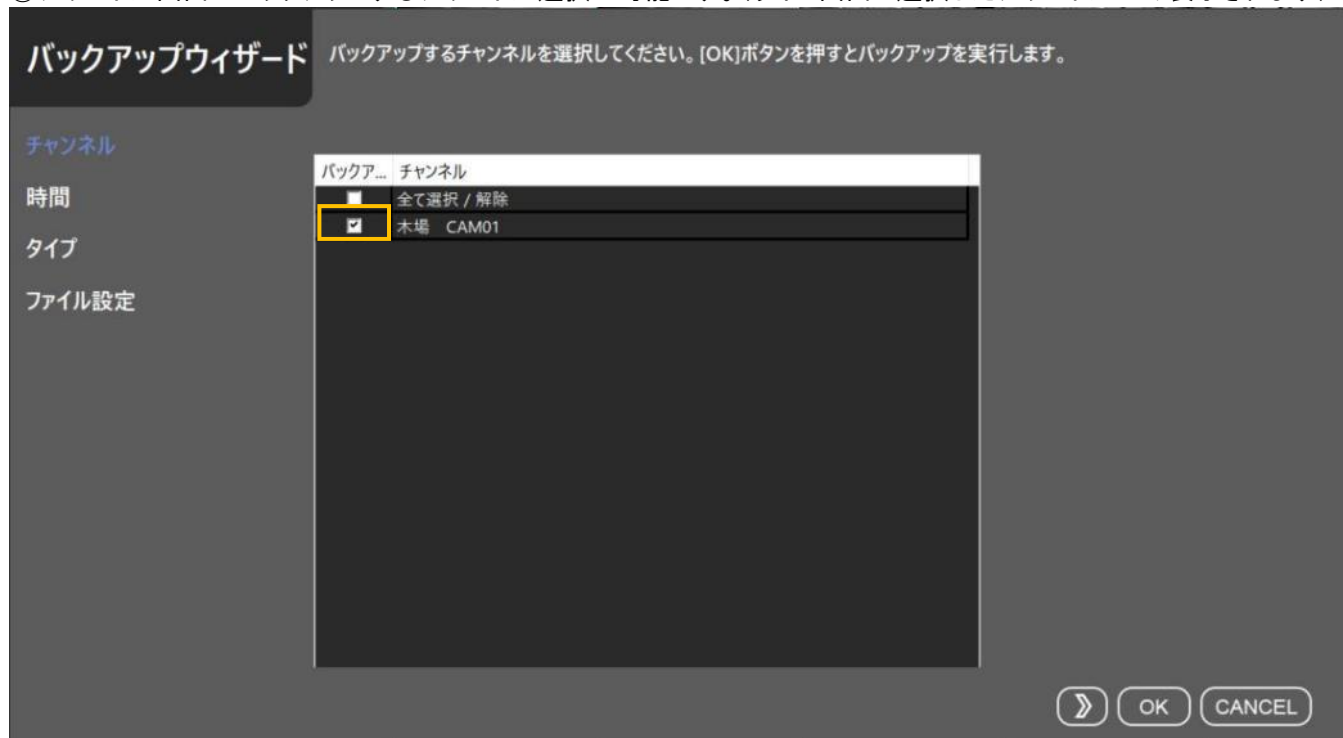
Note: インポート後はアプリケーションを再起動してください。

付録

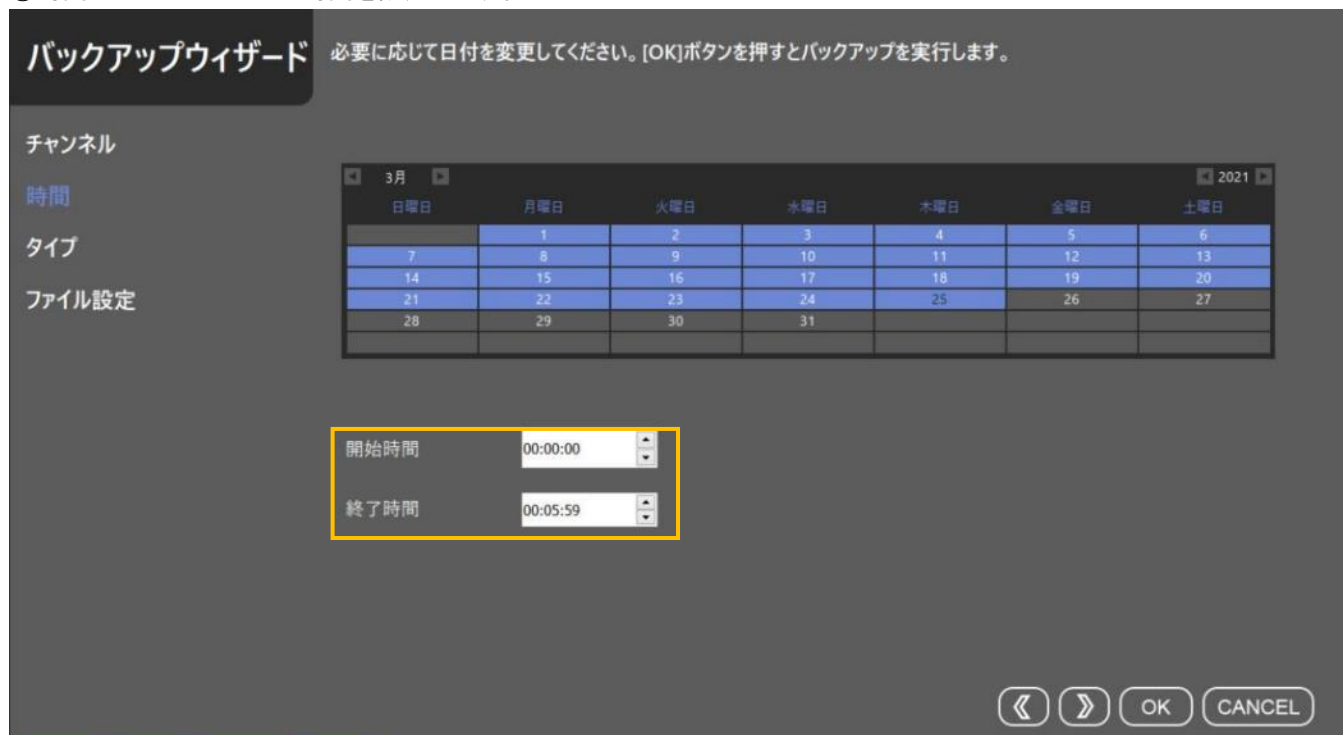
付録 1: シングルチャンネルバックアップ

ライブ画面で右クリックメニューからバックアップアイコンをクリックして、録画画像のバックアップ、ダウンロードを実行します。

①チャンネル画面でバックアップするチャンネル選択可能です。(ライブ画面で選択したチャンネルのみ表示されます)



②時間画面でバックアップ時間を設定します。



カレンダーの色が青色に変更されている日はレコーダーに録画データがあります。
(チャンネル毎のデータ有無は確認できません)

③バックアップ時間確認画面

バックアップウィザード バックアップの種類を選択してください。[OK]ボタンをクリックして続行します。

チャンネル
時間
タイプ
ファイル設定

開始時間 2021.01.15 - 00:00:00
終了時間 2021.01.15 - 00:05:59
検索タイプ 録画

◀ ▶ OK CANCEL

④ファイル設定画面で保存先、バックアップのモード、高画質モードが選択可能です。

- 宛先ディレクトリ: バックアップの保存先フォルダを設定します。
- モード: マルチチャンネルプレイヤー用 NAV ファイル形式、シングルチャンネル AVI/MP4 ファイル形式から選択します。
- 高品質モード: チェックすると DVR/NVR のセカンダリストリーム (高解像度側) をバックアップします。

バックアップウィザード バックアップファイルの出力パスを指定します。

チャンネル
時間
タイプ
ファイル設定

宛先ディレクトリ
C:\Users\%
...

モード
NAVファイル形式のマルチチャンネルMPlayer

☐ 高品質モード

◀ ▶ OK CANCEL

シングルチャンネル AVI,MP4 形式の場合、ファイルサイズ 250MB,500MB,750MB,1GB とファイル形式 AVI,MP4 を選択可能です。

バックアップウィザード

チャンネル

時間

タイプ

ファイル設定

バックアップファイルの出力設定をしてください。

宛先ディレクトリ

:sktop\LNRY 新しいフォルダー → 新しいフォルダー →

...

モード

シングルチャネルAVI/MP4ファイル形式

☐ 高品質モード

ファイルサイズ

250MB

ファイル形式

AVI

⏪

OK

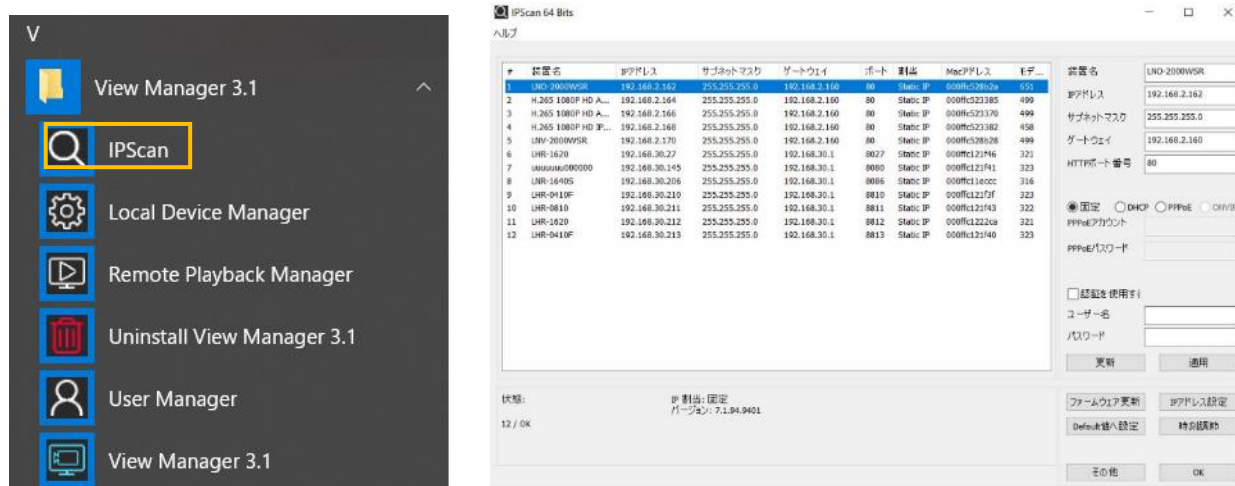
CANCEL

[OK]押すとバックアップを開始します。

Note: カメラ名に含まれる文字によって、ファイルの保存に失敗する場合があります。
この場合はカメラ名を変更して実行してください。

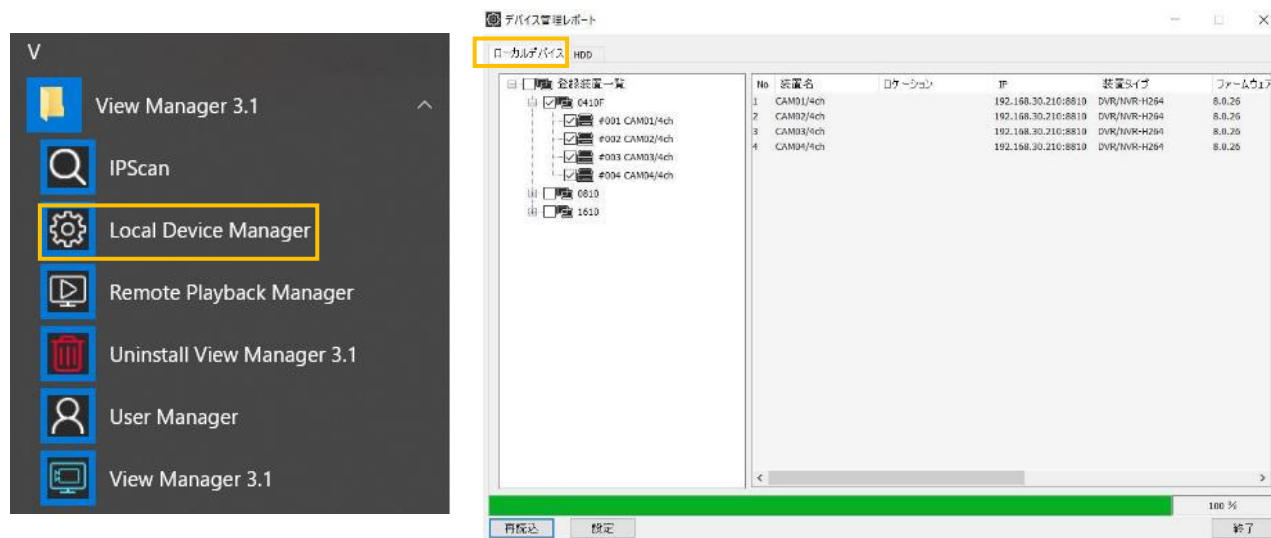
付録 2: IPScan について

IPScan ツールは、ローカルの LAN 内をスキャンして DVR/NVR および IP カメラを見つけることができます。

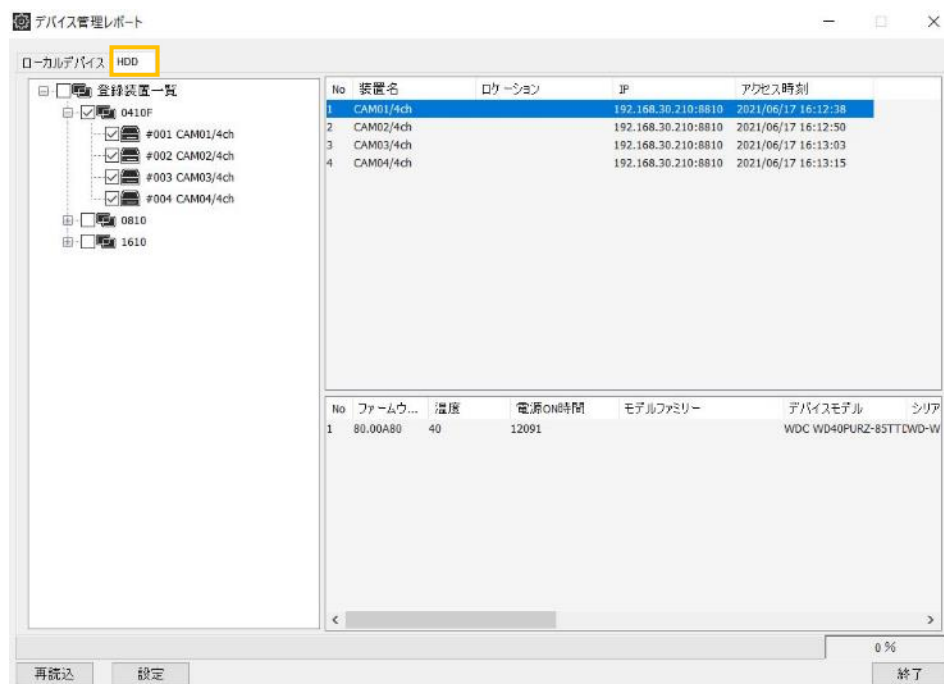


付録 3: Local Device Manager について

Local Device Manager ツールは、装置をスキャンして、装置名、ロケーション、IPアドレス、装置タイプ、ファームウェアバージョン、チャンネル番号、録画状態、接続状態、装置起動時間、アクセス時刻などのレポートを提供することができます。スキャンする装置にチェックを入れて[再読込]をクリックすることでスキャンを実行します。



また、装置のHDD情報のレポートを提供することができます。[HDD]タブを選択してスキャンする装置にチェックを入れて[再読込]をクリックすることでスキャンを実行します。





株式会社ティービーアイ
〒104-0031
東京都中央区京橋2-2-1京橋エドグラン

<http://www.tbeye.com>